

42763

教科書文庫

4

290

32-1912

01304
49506

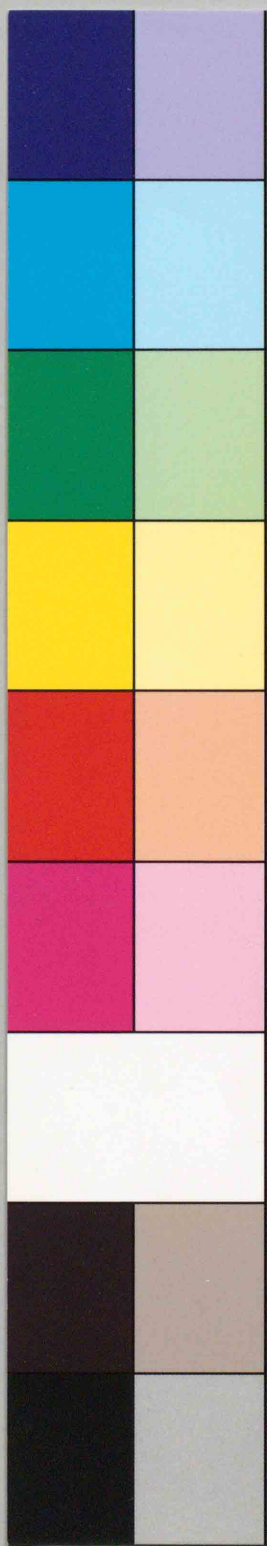
Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

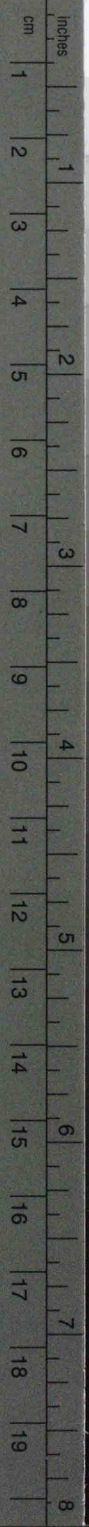


© Kodak, 2007 TM: Kodak

Kodak Color Control Patches



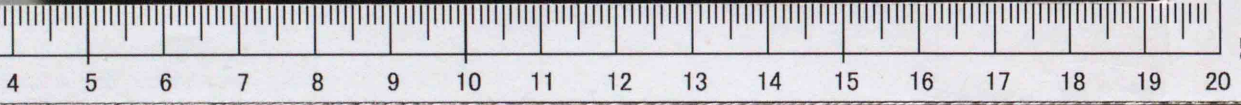
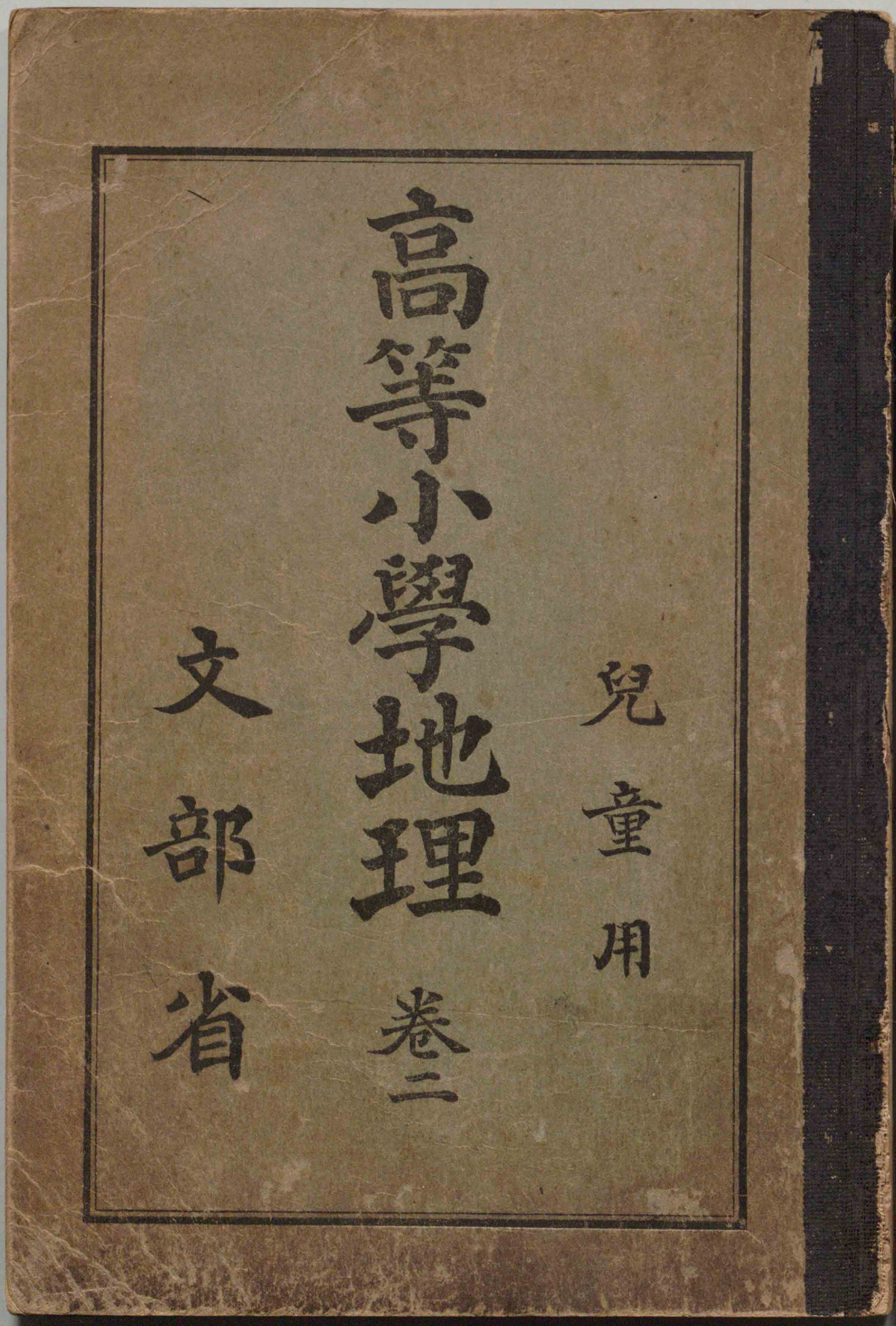
© Kodak, 2007 TM: Kodak



高等小學地理 卷二

文部省

兒童用



中央図書館

喜田河野加女



高等小學地理 卷二

兒童用

文部省

広島大学図書

0130449506



目録

第一	地球	一
第二	地球の表面	一
第三	陸地	四
第四	海洋	二十一
第五	大氣	二十七
第六	生物の分布	三十六
第七	人類	四十二
第八	國家	四十八
第九	政治	五十一
第十	教育・神社・宗教	五十七
第十一	産業 一	六十
第十二	産業 二	七十二
第十三	交通	七十五
第十四	都會	八十二

高等小學地理卷二 兒童用

第一 地球

地球

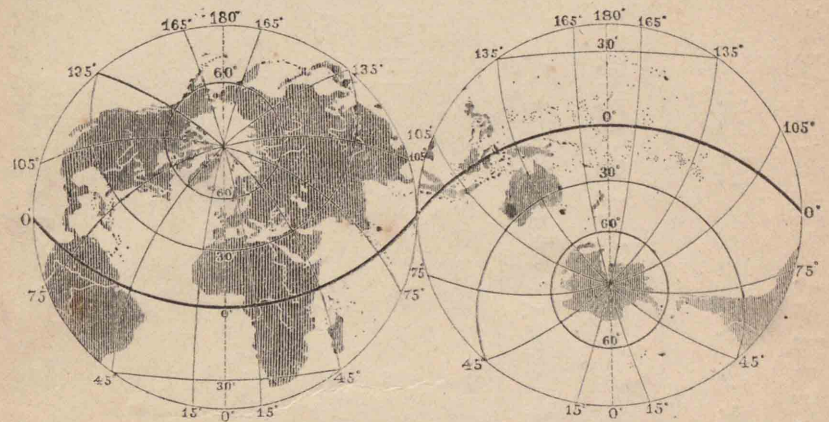
我等の住居する地球は太陽を中心とし、其の周圍を運行する遊星の一にして、形、球の如く、周回凡そ一萬里、面積凡そ三千三百萬方里あり。内部は高熱體にして、外部は地殻をなす。地殻の表面には高き所と低き所とあり。低き所は水に蔽はれて海洋をなし、高き所は水面に現れて陸地をなす。水陸兩界を包みて大氣あり。生物は水陸氣の三界中に棲息す。

第二 地球の表面

水陸の分布

海洋は相連りて一體をなし、陸地は海洋に隔てられて相分

陸地



水半球と陸半球

離し、海洋は地球表面の凡そ七割を占め、陸地は約三割を占む。其の分布の状態によりて、地球を水陸の二半球に分つことを得。陸地は其の大小によりて、之を大陸と島嶼とに區分す。大陸は普通之を分ちて亞細亞、亞弗利加、北亞米利加、南亞米利加、歐羅巴、濠太刺利とす。其の最も大なるは亞細亞にして、世界陸地の約三割を占め、最も小なるは濠太刺利にして、亞細亞の二割に及ばず。是等の大陸

海洋

海岸

は概ね北に廣くして、南に尖れり。島嶼は日本列島、馬來群島等の如く、列島又は群島をなすもの多し。海洋は其の大いさによりて、之を大洋と海とに分つ。大洋は之を太平洋、大西洋、印度洋に分つを常とすれども、更に北氷洋と南氷洋との名を設けて五大洋となすことあり。其の最も大なるは太平洋にして、廣さ略、他の諸大洋を合せたるものに等しく、最も小なるは印度洋にして、太平洋の凡そ四割に過ぎず。海の大なるものには日本海、地中海等あり。陸地の海に接する所は海岸にして、或は砂濱をなし、或は磯濱をなし、或は絶壁をなし、其の出入も亦一樣ならず。六大陸の中にて出入の最も多きは歐羅巴にして、最も少きは亞弗利加なり。又日本列島及び英吉利諸島等は面積に比して海

岸線の長きを以て著る。

第三 陸地 山脈

山脈

山脈

陸地の表面は高低一様ならず。山脈は其の高き部分の續けるものにして、中には長さ千數百里に亙れるものあり。

世界の山脈

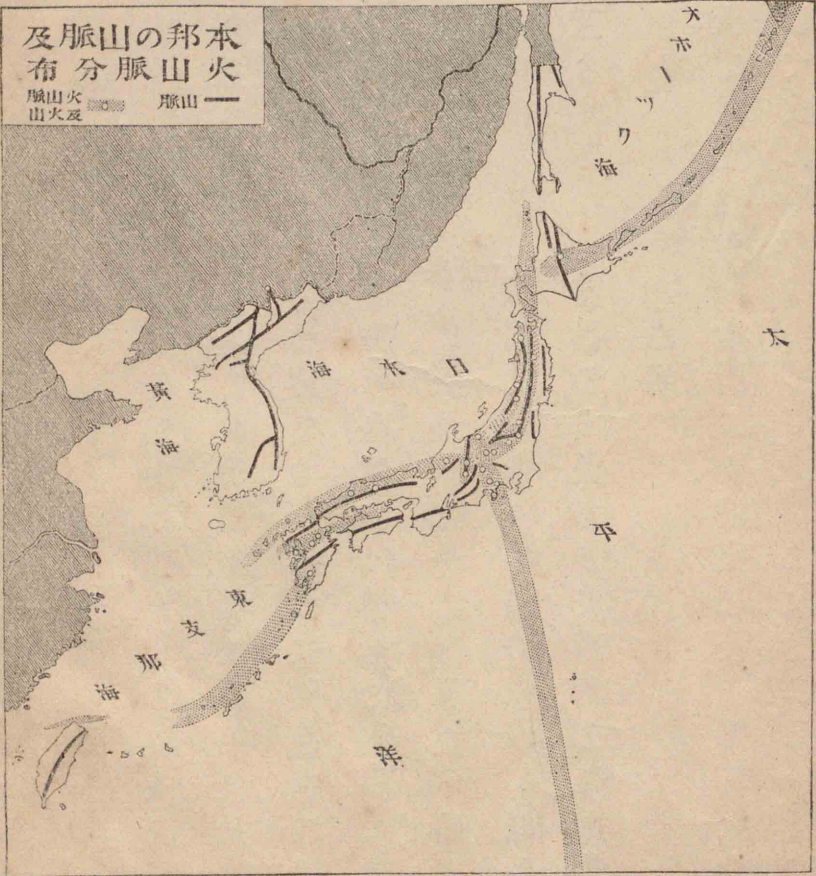
亞細亞にはヒマラヤ、崑崙等、歐羅巴にはアルプ山脈等ありて、何れも略東西に走り、北亞米利加にはロッキー山脈等、南亞米利加にはアンデス山脈等ありて、各略南北に亙る。而してヒマラヤ山脈のエベレスト山は海拔八千八百米以上に達し、世界の最高峯たり。

我が國の山脈

我が國の中部地方は赤石、木曾、飛驒等の諸山脈相集りて一

木曾山脈(飛驒)
赤石(赤石山)
飛驒(高津)
足尾(大菩薩原)
四國(百鬼山)
九州(赤石山)
中國

本邦の山脈及
火山分佈



大高地をなし、中に三千米内外の高峯少からず。高地の西方に南北二帯の山脈あり。南に在るは紀伊山脈、四國山脈、九州山脈の一帶にして、北に

在るは中國山脈筑紫山脈の^{ツリ}一帯なり。又高地の東北には奥羽山脈ありて、太平洋・日本海兩方面の分水界をなし、其の東方なる阿武隈北上の二山脈、西方なる越後・出羽の二山脈と相並びて南北に走る。北海道本島には中央を略、南北に走れる山脈ありて分水界をなし、樺太には西岸に沿ひて南北に走れる樺太山脈あり。臺灣には稍、東に偏して之を縦貫せる臺灣山脈あり、中に我が國第一の高峯たる新高山聳ゆ。又朝鮮には南部に大白山脈あり、半島の東岸に沿ひて略、南北に亙り、北部にも數條の山脈ありて西南より東北に走る。

火山・温泉

火山

火山は地殻の弱き所より噴出したる熔岩・火山灰等の堆積して成れるものにして、多くは大陸の沿岸又は島嶼に在り

世界の火山

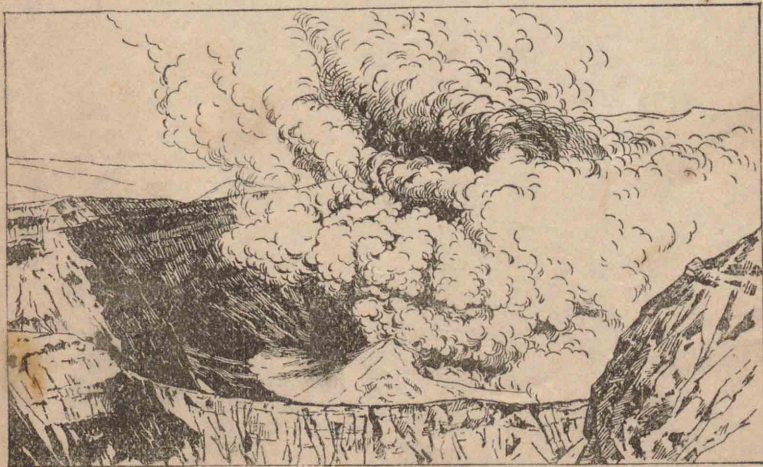
て火山脈をなす。

火山は太平洋方面にては日本列島・馬來群島・ニュージールランド・布哇諸島及び南北亞米利加の西岸等に多く、大西洋方面にてはアイスランド・西印度諸島・伊太利等に多し。

我が國の火山

本州の中部には富士火山脈あり、富士山を主峯とし、北は八岳を経て妙高山に至り、南は箱根・天城等の諸火山及び伊豆七島を経て南方遙に硫黄列島に至る。是より東北には那須・鳥海・千島の諸火山脈あり。那須火山脈は淺間山・榛名山・男體山・那須山・磐梯山・岩手山・マカリ岳等を連ねたるものにして、本州の中部より遠く北海道の西部に至る。鳥海火山脈は月山・鳥海山・岩木山等を連ねたるものにして、日本海岸に沿ひて略、南北に走る。千島火山脈はカムチャッカ半島より來り、千島

列島に現れ、北海道本島の中部に達して旭岳を起す。又富士火山脈の西方には御岳・白山・阿蘇霧島の諸火山脈あり。御岳火山脈は御岳・乗鞍岳及び立山の一部等より成り、飛驒高地の東に現れ、白山火山脈は白山より西に向ひ、中國の北部に通じて大山・三瓶山を起し、阿蘇火山脈は阿蘇山を主峯とし、西に温泉岳、東に九重山を起して九州を横斷し、霧島火山脈は霧島山に起り、櫻島・開聞岳等を経



阿蘇山の火口

温泉

て遠く西南に走る。

温泉は高温度の水が地殻の割目より湧出するものにして、火山地方に多く、地中の鑛物分を含みて其の性質一様ならず。箱根の蘆湯の如きは硫黄分に富み、攝津の有馬の如きは食鹽に富み、上野の草津の如きは酸類に富めり。而して箱根の湯本、伊豫の道後の如きは鑛物分を含むこと少し。温泉の一種に間歇温泉あり。一定の時間を隔てて水蒸氣熱湯を噴騰するものにして、アイスランド・米國に其の著しきものあり。我が國に於ては伊豆の熱海等に其の例あり。

河川

河川

河川は源を高所に發して低所に向ひ、四近の水を合せて進み、終に概ね海に入るものにして、多くは交通灌漑及び水力

世界の河川

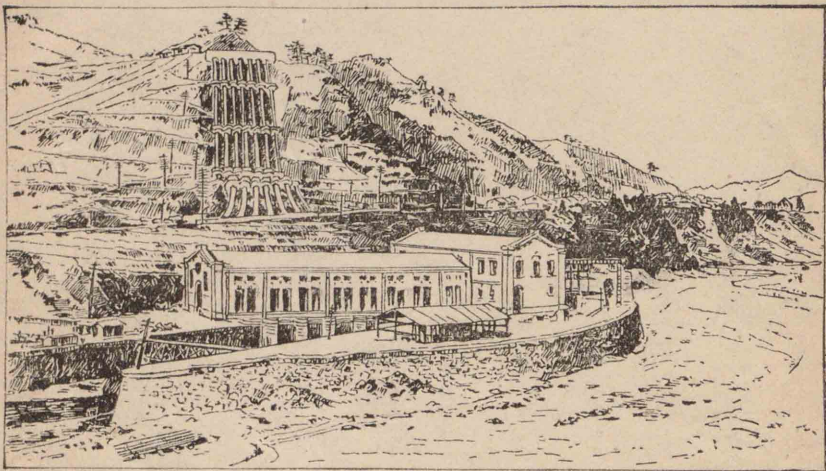
我が國の河川

利用の便等を與ふ。河岸に往往繁盛なる都會の成立せるは之が爲なり。

亞細亞には大いなる河川多けれども、交通の便大なるものは揚子江、ガンジス河等あるに過ぎず。其の中にて揚子江は水運の便最も多く、河口より凡そ四百五十里の間汽船上下す。歐羅巴にはライン、ダニュープ其の他多くの河川あり、概ね水勢緩にして、運河によりて相連絡し、交通の便を助くること頗る大なり。北米にミシシピ河あり、世界の最長流にして、水利の便甚だ大なり。南米にアマゾン河あり、水量甚だ豊富なれども、其の利用未だ盛ならず。亞弗利加にもナイル、コンゴの二大河あれど、何れも舟運の便多からず。

我が國の河川は一般に長からず、且其の流急なるを以て、交

湖沼



水力發電所

通の便を與ふるもの少けれども、水力の利用すべきもの頗る多し。諸川の中にて交通の便を與ふること稍著しきものは、内地に在りては利根川、北上川、信濃川、木曾川、淀川、石狩川等、朝鮮に在りては鴨綠江、大同江、洛東江等なり。

湖沼

湖沼は地面の廣く窪める所に水の溜りたるものにして、淡水湖と鹹水湖との別あり。淡水湖

世界の湖沼

は殆ど皆出口を有すれども、大陸の内部に在る鹹水湖は概ね之を缺けり。

世界の湖沼中、最も大なるは裏海にして、其の面積我が全國の約三分の二に當り、其の東方なるアラル海、及びエルサレム附近の死海と共に鹹水湖に屬す。死海は陸上最低の部分にして、其の水面は海面を下ること約四百米に及び、鹽分甚だ多く、魚類の生活に適せざるを以て名高し。又北米に於けるスペリオル・ミシガン等の五大湖、亞弗利加のビクトリヤ湖、西比利亞のバイカル湖等は淡水湖の著しきものなり。我が國には湖沼の廣大なるものなけれども、其の數は頗る多く、概ね淡水湖に屬す。其の最も著しきものは近江の琵琶湖にして、交通、灌漑の便多く、水産の利大に、其の水力大いに

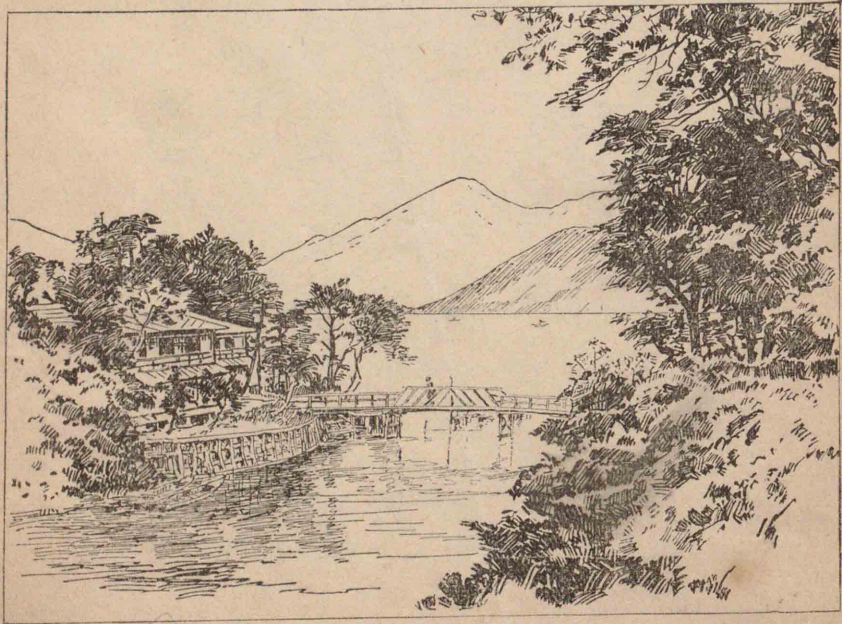
我が國の湖沼

利用せられ、風景も亦絶佳なり。其の他、常陸の霞浦、相模の蘆湖、下野の中禪寺湖、岩代の猪苗代湖、羽後の八郎潟、遠江の濱名湖、出雲の宍道湖等も亦有名なり。

平原

平原は平坦なる廣き土地にして、其の地味肥沃なる所には農業盛に行はれ、他の産業も亦之に

平原



中禪寺湖

世界の平原

次いで起り、最も人類の活動に適せる地たり。

亞細亞には支那平原・印度平原・メソポタミヤ平原・西比利亞平原等あり。就中支那平原と印度平原とは人口の稠密と産物の豊富とを以て著る。歐羅巴の東部には廣大なる平原あり、西に擴り獨逸を経て佛蘭西に及び、洪牙利・伊太利等に在る平原と共に、何れも産物に富む。又北米の中部に廣き平原あり、其の南部は盛に開拓せられて産物甚だ多し。南米にも亦中部に廣き平原あり、されど其の利用未だ盛ならず。我が國には所所に平野あれども、何れも大ならず。其の中に關東平野・越後平野・濃尾平野・大阪平野・筑紫平野・石狩平野・臺灣西部の平野・朝鮮の西部に於ける諸平野等稍著る。高原は平原の頗る高きものにして、亞細亞にては蒙古・西藏・

我が國の平野

高原

イラン・デカン・亞刺比亞等に於ける高原を著しきものとし、亞弗利加及び濠太刺利の内部にも廣大なるものあり。是等の諸高原には牧畜諸所に行はれ、農業亦行はるる所あり。

地殼の變動

地殼の變動

地殼の表面は直接間接に、内部よりは地熱の影響を受け、外部よりは大氣・水等の作用を被りて、種種の變動をなせり。

地熱の影響

海岸線の變動

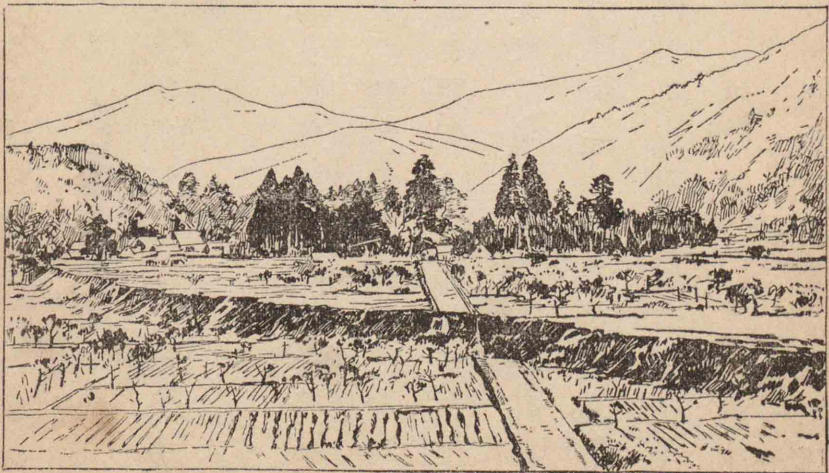
地熱は火山と溫泉との成因に深き關係あり。而して常に放散するが故に地球は次第に冷えて收縮し、地殼に種種の變動起りて、海は陸に、陸は海に變ずることあり。高山の地層中に海棲生物の化石を見、海岸に陸地の増加又は減退を見ることあるは地殼變動の例なり。

地震

地震は地盤に急激なる變動の生ずる際起るものにして、其

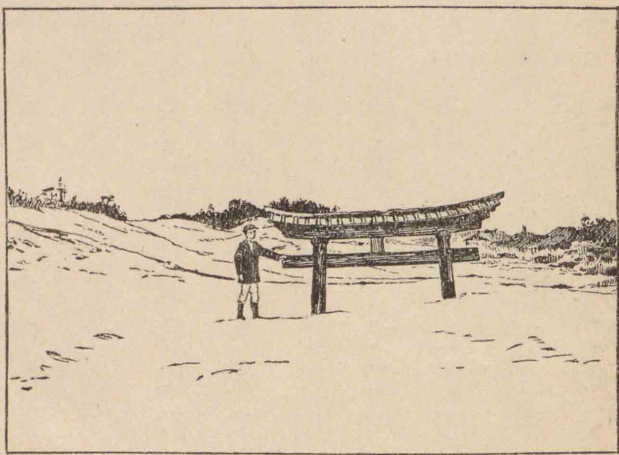
の變動甚だしき時は、地盤に喰^く違^{ちがひ}曲折裂罅^{れつ}・陷落を生ずることあり。太平洋及び地中海の沿岸等地盤の弱き所に多く、略、火山と其の分布を等しうす。

我が國は地震多く、殊に關東・越後・濃尾・大阪の諸平野、及び長野・山形・秋田・臺灣等の諸地方に於ける平野には、古來大地震の起りしこと多し。近年に於て最も著しきものは明治二十四年の濃尾地震にして、此の際地表に



濃尾地震の際生ぜる地盤の喰違

大氣の作用



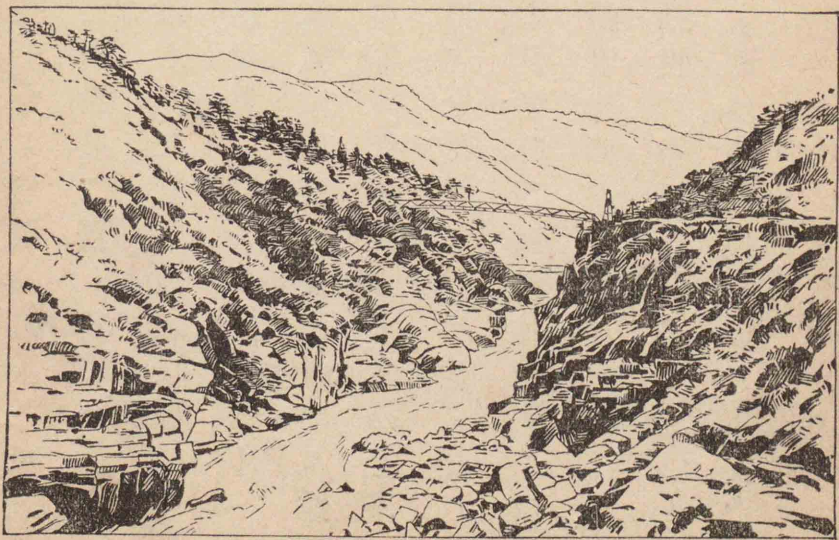
風は砂を吹寄せて海岸及び沙漠に砂丘を作ること少からず。我が國にて砂丘の著しきものは越後以北の日本海沿岸、薩摩の西海岸等に在り。

生じたる喰違は斷續して長さ二十餘里に亙り、其の高低の差最も甚だしき所にては六米に砂達せり。

大氣は溫度の變化及び風雨霜雪等の作用により、岩石を侵して之を粘土又は砂礫^{されき}に變ぜしむ。此の作用は風化といひ、屢、沃野膏土の基をなす。

水の作用
地下水の作用

水の地殻に對する作用も亦甚だ著しきものあり。雨水の地下水となりて石灰岩の如き溶易きものの中を流るる時は屢、洞窟を生ず。長門の秋吉臺、武藏の日原等に於けるものは其の著しき例なり。地下水の再び地上に出づるものは、泉となりて河川の源をなす。河水は絶えず河岸と河底とを侵蝕して、土砂積礫を下流に運ぶ。河水の侵蝕作



木曾川の upstream 流

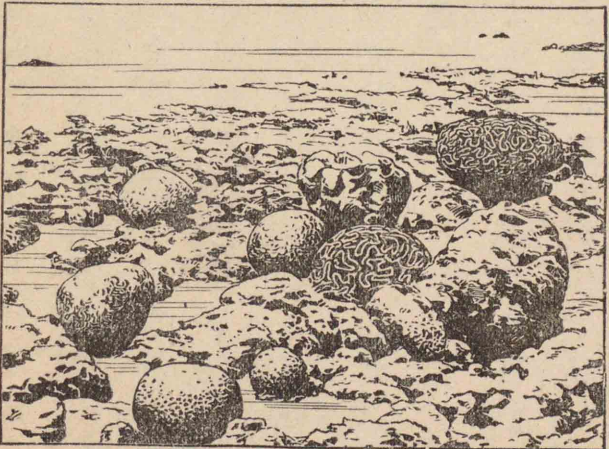
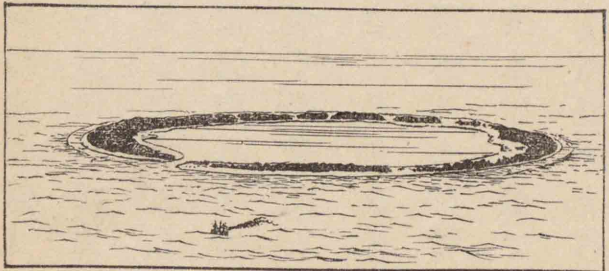
河水の作用

海水の作用

用は廣く地上に凹凸を生ぜしめ、殊に上流に在りては其の勢盛にして、山間に屢、深き溪谷を穿つ。河水に運ばるる土砂は、流の緩なる所に至るに隨ひて水底に沈積し、屢、河畔、河口に新しき平地を生ず。之を沖積地と名づく。揚子江、ミシシピ河、ガンジス河等の河畔には何れも廣き沖積地あり。我が國に在りては信濃川、木曾川、筑後川等に沿へるもの稍、著る。海水は波浪によりて常に海岸を侵蝕して、或は絶壁を作り、或は島嶼を作ることあり。紀伊半島の沿岸に屹立せる絶壁、松島灣内に散點せる數百の島嶼の如きは其の好例たり。波浪は海流と相待ちて海砂を集め、丹後の天橋立、伯耆の夜見濱の如き沙洲を作ることあり。沙洲の大なるものは海灣

生物の作用

の一部を擁して、遂に之を湖となすことあり、出雲伯耆の兩地方に互れる中海、北見のサロマ湖の如き是なり。生物も亦大氣水等に等しく、地殻に種種の作用をなす。植物



珊瑚礁

の根が岩石の間隙に入りて之を碎くは破壊作用の一例にして、珊瑚の珊瑚礁を作るは建設作用の一例なり。珊瑚礁は主に熱帯地方の海洋に散在し、

我が國にては臺灣・琉球列島等の沿岸に在り。

第四 海洋

海水・海底

海水

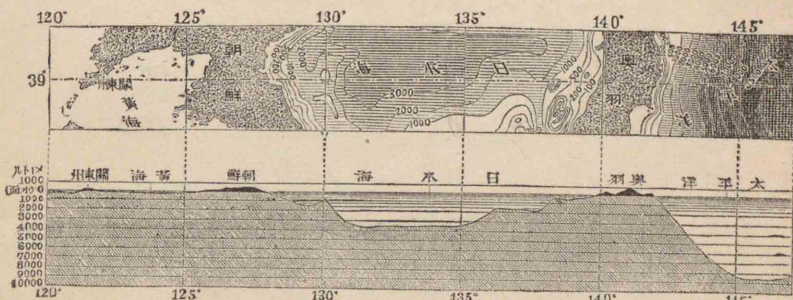
海水は藍色又は綠色に見ゆるを常とし、中に鹽分を含み、比重は淡水よりも大なり。鹽分の量は概して熱帯地方に多く、寒帯地方に少く、平均百分中約三五を占む。海水表面の温度は熱帯地方に高く、寒帯地方に低けれども、深所に於ては到る所殆ど同一にして零度内外なり。

海底

海洋の深淺は到る所同一ならず。大陸に近き海底は一般に淺く、陸地を離るるに隨ひて次第に深く、而して略二百米の等深線を過ぐれば傾斜急激となりて俄に深さを加ふるを

ニューシールランド
四千九百米
ニューギニア
四千八百米

我が國の近海



本邦近海の断面

常とす。其の最も深き所は太平洋の西部なるマリヤナ列島附近に在りて、九千六百米を超ゆ。
我が國の近海は太平洋方面に深く、殊に千島列島の南方にはタスカロラ海床と稱する所あり、其の最も深き所は八千五百米以上に及ぶ。されど日本海及び其の附近に於ける海は三千六百米を超ゆる所なく、黄海と東支那海とは殊に淺し。若し我が近海の深さ凡そ二百米を減せば、我が列島の大部分は互に接續して亞細亞大陸にも連るに

至らん。

海流

海流
大西洋に於ける海流

海流は海水の一定の方向を取りて流るるものにして、温度によりて暖流と寒流との別あり。暖流は總べて赤道附近に起り、赤道海流となりて西に向ひ、大陸の爲に南北の二派に分れ、漸次彎曲して遂に各、一大環流をなし、其の支流には遠く寒帯に至るものあり。寒流は高緯度の所に起りて低緯度の所に及ぶ。何れも氣候・水産物・交通等に大いなる關係を有せり。海流の著しきものは北太平洋と北大西洋とに在り。北大西洋には灣流とラブラドル海流とあり。灣流は暖流に屬するものにして、墨西哥灣に起り、東北に向ひて大西洋を横斷し、歐羅巴の西北岸に沿ひて流れ、遂に北氷洋に達す。ラ

水の流れ
北太平洋
北大西洋

ブラドル海流は寒流に屬するものにして、北氷洋に起り、北米の東北岸に沿ひて南流し、ニューファウンドランド島の近海に至る。

太平洋に於ける海流

我が國の近海には日本海流・千島海流等あり。日本海流は北太平洋に於ける暖流の著しきものにして、一に之を黒潮といふ。フィリピン群島の近海より北に向ひ、臺灣の東岸及び琉球列島の海岸を洗ひ、九州・四國・本州の太平洋岸に沿ひて東北に進み、遂に北米の西岸に達す。其の支流なる對馬海流は琉球列島の近海より分れて日本海に入り、本州の海岸に沿ひ、北海道本島の西を経てオホーツク海に及ぶ。

千島海流は寒流にして、一に親潮の名あり、カムチャツカ半島の近海より千島に沿ひて西南に向ひ、更に北海道本島の南岸

を経て本州の東岸を洗ふ。此の外、オホーツク海の北部に起る寒流あり、樺太島の爲に分れて樺太リマンの二海流となる。樺太海流は樺太の東を流れて宗谷海峽附近に達し、リマン海流は樺太の西を流れ、大陸に沿ひて朝鮮半島の東岸を洗ひ、對馬海峽に至る。

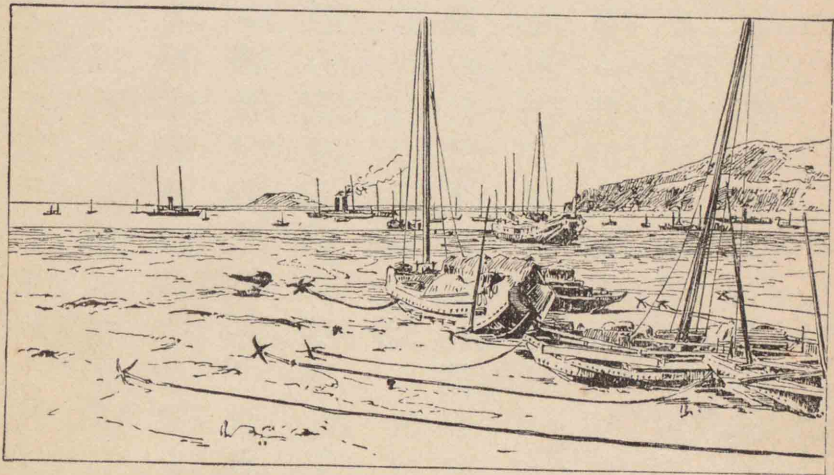
潮 汐

潮汐

潮汐は凡そ十二時間毎に一回の満干をなす海水の運動にして、日月の引力によりて生じ、殊に月の引力に關すること多く、新月と満月との頃には満干の差甚だ大なり。満干の差は又海陸の位置、海岸線の形狀等によりて、各地一様ならず。其の最も大なるは北米の東岸なるフンヂー灣に於けるものにして、二十米餘に達す。我が國にては朝鮮の仁川附近に

潮流

波浪



仁川に於ける干潮

於ける凡そ十米を最も著しきものとし、九州の有明海に於けるもの亦著る。

海洋には海流の外、又潮汐によりて生ずる海水の流あり、之を潮流といふ。我が國に在りては鳴門海峡に於けるもの最も名高く、其の速度一時間五里以上に及ぶ。

波浪

波浪は普通、風の爲に起るものにして、風力強大となるに随ひ、

津浪

其の高さも亦加りて、三十餘米に及ぶことあり。津浪は大波浪の俄に海岸に襲來するものにして、或は海底の地變に基づき、或は暴風によりて起り、其の甚だしきものは高さ六十米以上に及ぶことあり。我が國に於ける津浪は明治二十九年奥羽地方の東岸を襲ひたるもの最も著しく、其の高さ約二十五米に達せり。

第五 大氣

氣温

氣温の異同

大氣の温度は主に太陽の熱に基づくものにして、日光の直射を受くる赤道地方は温度高く、兩極地方に至るに随ひて温度低減す。地球の表面に熱帶・温帶・寒帶の別あるは之が爲

世界に於ける
氣溫の分布

なり。大氣の溫度は又低地より高地に上るに隨ひて低下す。されば熱帶地方にても、高地には氣溫高からずして人身に適する所多く、其の高さ凡そ四千五百米以上に及べば、年中白雪を戴く所少からず。

氣溫は又海陸の分布、海流の寒暖、山脈の方向、風の方向等の影響を受くること少からざるが故に、緯度及び海拔を同じうする土地と雖も、必ずしも其の氣溫を同じうせず。

北半球に於て氣溫の最も高きは概ね七月にして、最も低きは概ね一月なり。されど我が國に在りては八月に最も高く、二月に最も低き所多し。

世界酷熱の地はサハラより亞刺比亞・イラン地方に至る一帯の地にして、夏季の平均溫度三十五度に達し、就中サハラ

我が國に於ける
氣溫の分布

の如きは年平均溫度三十度に上り、最高溫度七十三度に上ることあり。最寒の地は西比利亞・加奈陀等の北部にして、年平均溫度零下十度以下に下り、殊に西比利亞にては最低溫度約零下七十度に下る所あり。

我が國は概して寒暑共に甚だしからず。高熱の地たる臺灣・琉球列島・小笠原島に於ても、一年の平均溫度二十五度に上る所なく、一年中にて最も暑き七月又は八月の平均溫度も二十八度に達する所殆どなし。寒冷の地たる樺太に於ても最も寒き一月の平均溫度零下二十三度に下る所なく、年平均溫度は概ね零度以上なり。又我が測候所にて觀測せるものの中、最高溫度は元山の約四十度にして、最低溫度は樺太の落合に於ける約零下四十六度なり。

靜穩

煙直立

風

軟風

僅ニ風アル

ヲ感ズ

和風

木ノ葉ノ

疾風

木ノ枝ノ

季節風

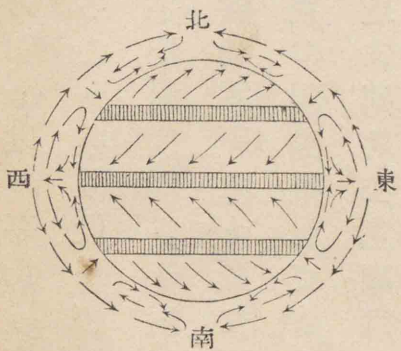
強風

木ノ大枝

烈風

木ノ大幹

風は氣壓に高低の差の生じたる時に起り、氣壓の高き所より低き所に向ひて吹く。而して氣壓は赤道地方に低く中緯度地方に高きが故に、風は中緯度地方に起りて赤道地方に向ふを常とす。此の風は地球自轉の影響により、北半球に在りては東北風となり、南半球に在りては東南風となる。是等は貿易風といひ、熱帶地方の海洋に著しく現る。



地球表面の氣流

氣壓は夏季にありては大陸に低く大洋に高く、冬季は之に反するを常とす。されば風は概して夏季大洋より大陸に向ひて吹き、冬季大陸より

颶風

大木ノ家ヲ倒ス

旋風

風の速度

龍卷

海風陸風

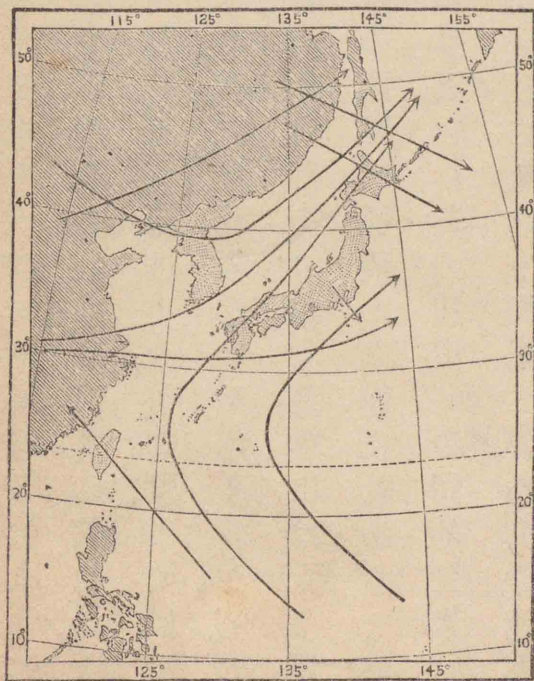
大洋に向ひて吹く。かく季節によりて略、一定の方向に吹く風を季節風といふ。季節風の著しき所は亞細亞の南部より東部に互れる地方なり。印度にては夏季に西南の季節風吹き、冬季に東北の季節風起る。我が國の季節風は、冬季には亞細亞の内部より來り、夏季には太平洋方面より來る。風の速度は種種あり、僅に風あるを感ぜしむる程のものを軟風といひ、其の速度一秒間約二米に過ぎず。樹を抜き家を倒す程のものを颶風といひ、其の速度一秒間三十米以上に達す。我が國に於て觀測せる颶風の最も甚だしきものは嘗て筑波山上に襲來せるものにして、一秒間の速度百二十一米に及べり。

天氣靜穩なる時、日中風は海より陸に向ひて吹き、夜間陸よ

我が國の暴風

り海に向ひて吹くを常とす。かく海より吹く風を海風といひ、陸より吹く風を陸風といふ。海風と陸風と交代する際、一時風の止むことあり、之を朝風・夕風といふ。

我が國に襲來する暴風はマリヤナ列島・フイピン群島方面



路進の風暴邦本

に起るを常とす。初は西或は西北に向ひ、漸次北より東北に方向を轉じて、九州・四國・本州・北海道本島等を過ぐることも多し。大抵七月よ

り十月までの間に起り、二百十日前後に其の勢殊に猛烈なるものあり。その他、西比利亞支那地方に起りて我が國に襲來するものあり。

雨

雨量

大氣の溫度下る時は、其の中に含まるる水蒸氣の一部は凝結し、或は雲霧となりて空中に浮び、或は雨雪等となりて地表に下る。雨雪等の地表に下りたる量を雨量といふ。雨量は地勢・森林・海流・氣溫・風等の影響によりて、各地一様ならず。

世界の雨量

世界に於て雨量の甚だ多き所は、ヒマラヤ山脈の東南部より馬來群島に及べる一帯の地方、アマゾン河の流域、亞弗利加に於けるスタン^スの南部等にして、中にもヒマラヤ山脈の東南麓^フなるアッサム地方には、一年の雨量一萬二千耗に達し、

我が國の雨量

世界第一の多雨地と稱せらるる所あり。又雨量の甚だ少きは、サハラより亞刺比亞・イラン高原を経て中亞細亞・蒙古高原等に至る一帶の地方、北米西部の高地、濠洲の内部等にして、何れも年二百五十耗未滿なり。

我が國は雨量一般に多し。冬季季節風の時季には雨量概ね少けれども、本州及び北海道の日本海に面する地方にては此の時季にも雨量頗る多く、殊に北陸地方にては多量の積雪を見る所あり。夏季季節風の時季には雨量概ね多く、太平洋に面する地方殊に甚だし。此の季節の半頃には本州の大部、四國・九州、朝鮮の南部に梅雨の現象あり。

我が國にて雨量の殊に多きは臺灣の北部、九州・四國・紀伊半島の南部、及び中部地方と奥羽地方との日本海に面せる一

氣候

氣候

帶の地にして、年雨量三千耗以上に達する所少からず。雨量の殊に少きは北海道の大部、樺太、朝鮮の西部等にして、一千耗を越ゆる所極めて稀なり。

氣候とは各地に於ける氣溫・氣壓・晴曇・風雨等即ち天氣の平均状態をいふ。氣候は熱帶・溫帶・寒帶によりて大いに其の趣を異にす。熱帶は氣溫高く、雨量多く、季節風の地方に在りては降雨期と乾燥期との別あり。溫帶は四季の區別明かにして、雨量稍少く、寒帶は冬季長く、氣溫低く、雨量少し。

沿海地方は一般に氣候濕潤にして、概ね溫和なれども、大陸の内部は概して空氣乾燥し、寒暑共に甚だし。氣候に海洋性と大陸性との別あるは之が爲なり。

我が國の氣候

我が國は地勢狹長にして、大部分温帯に位し、且殆ど皆海洋を環して暖流の影響を受くる所多し。されば我が國の氣候は概ね温和にして、多くは海洋性に屬す。

第六 生物の分布

生物の分布

生物は水中のものと陸上のものと大いに其の種類を異にす。又水中のものは水の性質深淺等により、陸上のものは地勢・風土等によりて、其の分布一様ならず。されば赤道地方より兩極地方に進むに隨ひ、又低地より高地に上るに隨ひて、生物は漸次其の種類・生活狀態等を異にす。其の他、乾燥地と濕潤地と、大陸と島嶼とに於ても亦其の趣各同じからず。

植物の分布

熱帶の中にて多濕の地には、植物の種類頗る多く、且其の生

熱帯
温帯
寒帯

育甚だ盛にして、喬木・大樹の雲を凌ぎ枝を交へ、寄生植物之に著生し、蔓生植物之に纏綿して、晝尙暗き大森林をなせるもの少からず。かくの如きはアマゾン河の流域地方、亞細亞の南部より東南部に互れる地方、亞弗利加の中部地方等に多く見る所なり。山地より平地に互りては椰子樹盛に繁茂し、其の種類亦頗る多く、入江に臨める所にはマングローブ樹の密林をなせるもの多し。平野には諸所に甘蔗・珈琲・稻・綿等の農作物盛に栽培せらる。又到る所バナナ・パイナップル等の如き美味の果實に富む。

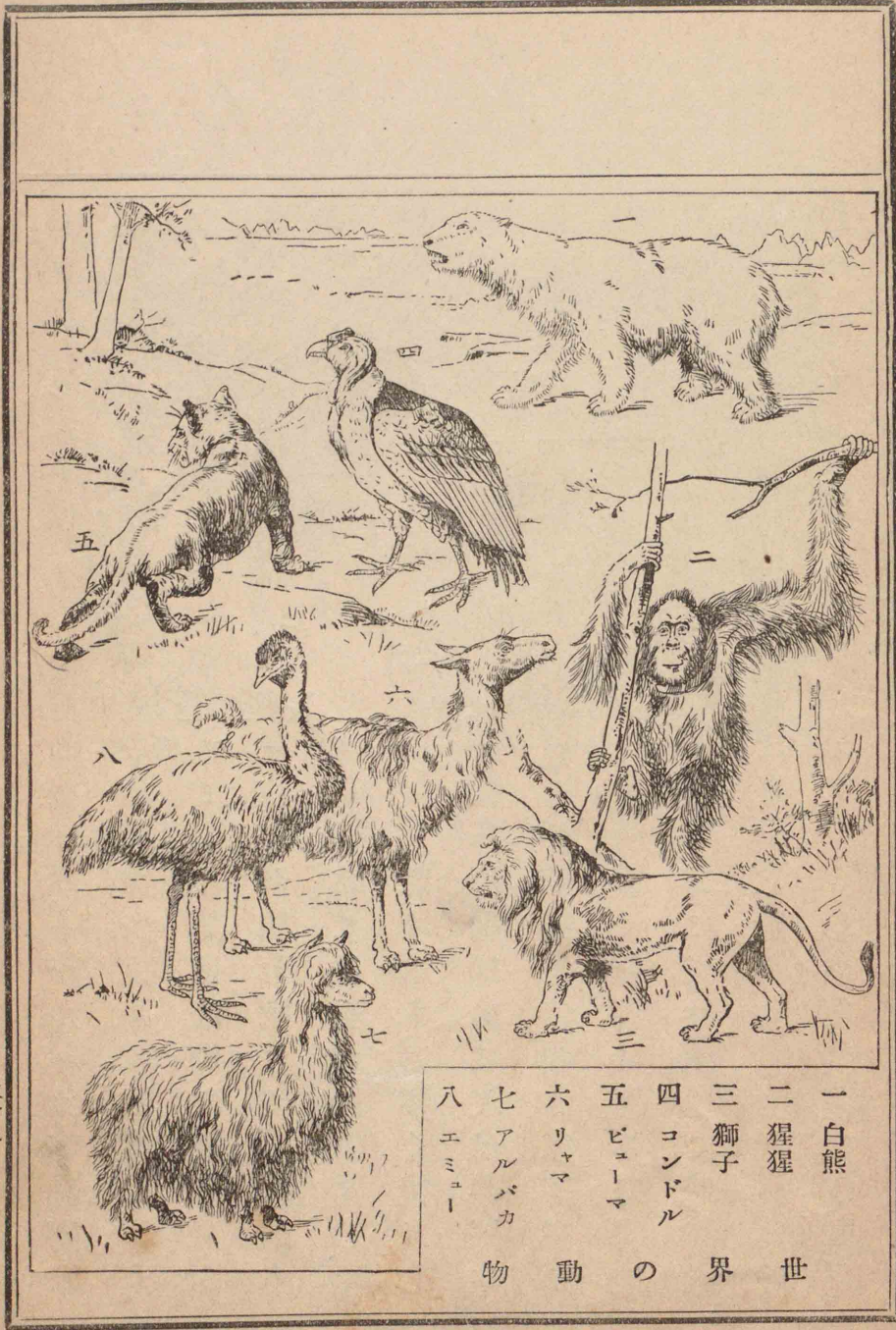
温帯地方にては麥・稻・茶・桑等の農作物を栽培し、松・杉・檜等の森林を養成し、花の美なるもの、果實の美味なるものをも培養す。

動物の分布

温熱兩帯は植物の生育概して盛なれども、往往大氣の乾燥甚だしきが爲に、大沙漠をなせる所あり、サハラは其の最も著しき例なり。又一年の中、乾燥季には不毛の地となり、降雨季には緑野に變ずる所あり、蒙古及び中亞細亞の草地、南米南部の廣原等是なり。

寒帶地方に至りては植物甚だ少く、其の發育亦良好ならず。殊に西比利亞・加奈陀等に於ける凍原の如きは、夏季に於て僅に蘚類・地衣類の生ずるを見るのみ。

動物は亦氣候の影響を受け、且海洋・山岳或は食物等の爲に其の住所を限らるるが故に、各地其の種類を同じうせず。例へば猩猩類・象・獅子・虎・犀・鰐等は亞細亞・亞弗利加・ヤク・孔雀等は亞細亞・河馬・ジラフ・ゼブラ等は亞弗利加、コンドル・ピューマ・



一 白熊
 二 猩猩
 三 獅子
 四 コンドル
 五 ビューマ
 六 リヤマ
 七 アルバカ
 八 エミュー
 動物の界世



種一の樹榕

樾 杪

本邦の熱帯植物

リマアルパカ等は南米、カンガル、鴨嘴獸、エミ、等は濠洲に限らるるが如し。概して熱帯地方にては巨大なるもの、猛悪なるもの多く棲息し、温帯地方にては牛、馬、羊、豚、鶏等の如き家畜、家禽多く飼養せらる。寒帯地方にては兩極に近づくに随ひて動物大いに減少し、終には僅に馴鹿、白

我が國に於ける植物の分布

熊・ペンギン等を其の著しきものとするに過ぎず。

我が國は地勢變化に富み、風土所によりて一様ならざるが故に、植物は其の種類甚だ多く、所所其の趣を異にす。臺灣、琉球列島等には榕樹類、バナナ、阿旦杪樾等多く成長し、臺灣の山地、九州、四國及び本州には松、杉、檜等の森林多く、朝鮮には朝鮮松多く、北海道と樺太とは椴松、蝦夷松、落葉松類、其の他の樹木より成れる森林あり。

我が國に於ける動物の分布

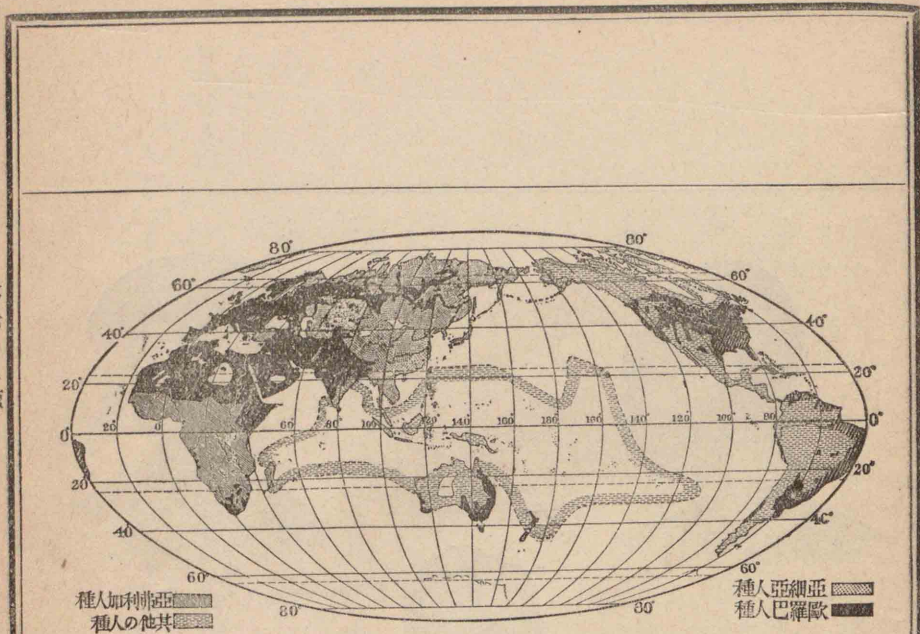
動物も亦地方によりて多少の異同あり。本州、四國、九州の猿、猪、本州の鮠魚、琉球列島の飯匙倩、小笠原島の海龜、北海道の熊、千島の臘虎、朝鮮の虎等の如きは其の著しき例なり。其の他、臺灣の水牛は元、支那より、樺太の馴鹿は元、西比利亞より移殖したるものにして、今や其の數頗る増加せり。

人類

人種

第七 人類

人類は智徳に富み、よく周囲の事情に適應し得るを以て、地上に到る所に住居し、其の數殆ど十六億あり。人類は其の容貌・體格等地方によりて各異同あり、便宜之を大別して、亞細亞人種・歐羅巴人種・亞弗利加人種等とす。亞細亞人種は其の皮膚概ね黄色を帶ぶるが故に、一に黄色人種と稱せられ、人口凡そ四億八千萬あり、主として亞細亞に住む。其の中にて漢族は數千年前にありて文化風に開け、東洋文明の一大淵源をなせり。歐羅巴人種は其の皮膚白色を常とするが故に、又白色人種の名あり。人口は八億三千萬以上に及ぶ。元主として歐羅巴



人種の分布

に住み、歐羅巴以外に在りては唯亞細亞の南部より亞弗利加の北部に互れる一帯の地に住居するに過ぎざりしが、近世に至りて盛に世界の各地に移住し、今や南北亞米利加・濠洲・亞弗利加の南部・亞細亞の北部等、到る所白色人種の住地たらざるはなきに至れり。此の種族中、印度・メソポタミヤ・埃及等に在りしものは數千年前に於て既に文化の域に進み、希臘・羅馬等に在りしもの之に次いで開け、

世界の人種



(人土加利弗亞)種人加利弗亞

(人那支)種人亞細亞

(人利吉英)種人巴羅歐

(人土加利米亞)種人加利米亞

(人バヤジ)種人來馬

以て今日に於ける西洋文明の基礎をなせり。
 亞弗利加人種は概して其の皮膚黒色なるが故に、又黒色人種の名あり。主として亞弗利加の中部以南に住し、其の數一億餘あり。多くは野蠻の域を脱せざれども、移されて南北亞米利加に在るものの中には、知識の頗る進歩せるものなきにあらず。

以上の外、尙數多の種族あり。就中馬來半島、馬來群島等に住する馬來人種、南北亞米利加の諸所に住する亞米利加人種等を其の主なるものとす。

世界の人口
 六大洲中、人口の最も多きは亞細亞にして、世界人口の二分の一以上を占め、其の數八億に餘る。最も少きは大洋洲にして、亞細亞の百分の一に及ばず。世界人口の密度は一方里に

我が國の種族

つき平均約百六十人にして、歐羅巴は其の四倍に及び、白耳義・和蘭・英吉利・獨逸等の諸國殊に稠密なり。亞細亞は歐羅巴に次いで二倍に近く、其の中にて密度の殊に大なるを我が國とす。而して他の諸洲は皆平均數に及ばず。最も疎なるは大洋洲にして、其の密度は平均數の十分の一に達せず。我が國の住民は殆ど皆亞細亞人種に屬し、太古以來連綿たる大和民族其の大部分を占む。その他、北海道と樺太とにアイヌ人等あり、臺灣に漢族・蕃人等あり、朝鮮にも亦固有の住民ありて、各其の氣質・風俗等を異にすれども、何れも大和民族特有の美風に同化せられつつあり。

我が國の人口

我が國の人口は殆ど六千八百萬にして、世界人口の凡そ二十三分の一に當り、一方里の平均人口は約一千六百人にし

言語

て、世界人口の平均密度の約十倍に當る。就中密度の殊に大なるは關東平野・濃尾平野・近畿の諸平野、瀬戸内海の沿岸、九州の北部、臺灣の西部、朝鮮の中部以南等の諸地方にして、其の甚だ疎なるは樺太、北海道、臺灣の東部等なり。言語にも亦種類多く、各國獨特の國語あり。されど中には墺地利・洪牙利の如く、十數種の言語並び行はるる所なきにあらず。

世界に於て最も廣く行はるるは英語にして、米國及び英領の各地等にも行はれ、又商業上の用語として廣く用ひらる。佛蘭西語は白耳義・瑞西等にも行はれ、又各國の外交上及び上流社會の交際上の用語として用ひらる。獨逸語は墺地利・瑞西等にも行はれ、西班牙語は墨西哥・中央亞米利加及び南

國家

亞米利加の大部分等にも行はる。

第八 國家

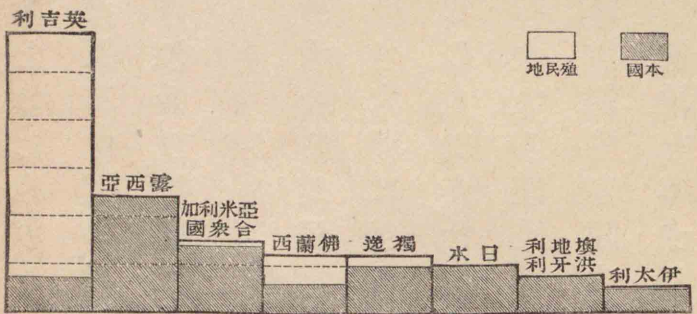
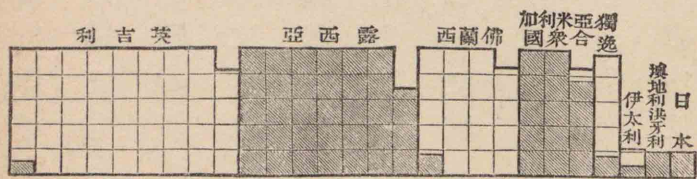
現今世界に分立する國は其の數五十に餘れども、眞に獨立の體面を保つものは二十有餘に過ぎず。是等の中には君主を戴けるものと然らざるものとあり。我が國は上に萬世一系の天皇を戴き、臣民皆忠君愛國の精神に富み、實に萬國無比の國體をなせり。

列強國

世界の強國と稱せらるるは我が國及び英吉利・亞米利加合衆國・獨逸・佛蘭西・露西亞・奧地利・洪牙利・伊太利の八國にして、列強國の面積は露國の凡そ百四十萬方里を最大とし、伊太利の凡そ一萬八千方里を最小とし、其の人口は露國の一億

國境

列強國面積の比較



列強國人口の比較

六千萬を最多とし、伊太利の約三千五百萬を最少とす。我が國の面積は凡そ四萬三千方里にして列強中第四位を占め、人口は殆ど六千八百萬にして第三位に在り。是等の諸國は風土概ね其の宜しきを得、國民一般に進取の氣象に富み、之を統治する主權亦よく確立せり。國と國との境界には山脈・河湖・海洋或は經緯線等を利用す。我が國は從

殖民地

來海を以て國境となし來りしが、今や樺太にては北緯五十度の線に沿ひて標石を置き、以て露國との境を定め、朝鮮にては鴨綠江、豆滿江及び白頭山を以て、清國及び露國と境を分つに至れり。

列國の中には廣大なる殖民地を有するもの少からず。就中英國の殖民地は各大洲に亙りて、其の面積世界陸地の約五分の一に當り、其の人口亦世界人口の凡そ五分の一に當る。英國に次いで廣大なる殖民地を有するは佛蘭西、獨逸にして、白耳義、葡萄牙、和蘭等亦順次相次ぐ。

列強の中には租借地を有するものあり。我が國の關東州に於ける、英國の威海衛に於ける、獨逸の膠州灣に於けるが如き是なり。

租借地

政體

第九 政治

三期

國を統治する機關を立法、司法、行政の三部に分ち、且國會を開き國民の參政を許すの憲法を定め、之によりて政治を行ふを立憲政體といふ。此の統治機關の區別なく、且國民の參政を許さざるものを專制政體となす。列國には概ね立憲政體行はる。

我が國の政體

明治天皇は深く國體の由りて來る所を鑑み給ひ、國民の幸福を増進し、國家の進運を扶持し給はんとの大御心より、明治二十二年紀元節の日を以て、皇室典範及び大日本帝國憲法を制定し給ひ、次いで二十三年帝國議會を召集し給へり。爾來我が國は立憲政體の國となれり。

帝國議會

帝國議會は貴族院と衆議院とより成り、法律案及び歳出・歳入の豫算を議定するを以て其の任務とす。

裁判所

裁判所は法律によりて訴訟を裁判す。大審院・控訴院・地方裁判所・區裁判所の別あり。又朝鮮・臺灣及び關東州には總督府

行政官廳

又は都督府に屬する裁判所あり。
行政官廳は中央に外務・内務・大藏・陸軍・海軍・司法・文部・農商務・遞信の九省あり、各省に大臣ありて、夫々全國の行政を管掌す。各省大臣は國務大臣として内閣を組織し、内閣總理大臣は其の首班となりて、行政各部の統一を圖る。

地方の中、本州・四國及び九州地方は行政上之を三府・四十三縣に分ちて、各府縣に知事を置き、又北海道廳及び樺太廳には各、長官を置き、以て域内の行政を掌らしむ。朝鮮と臺灣と

地方團體

には各、總督を置き、關東州には都督を置く。府縣は之を分ちて郡及び市となし、郡は更に之を町村に分つ。府縣郡市町村は各、地方團體として自治機關を備ふ。

外交

列國は通商・航海等に關して互に條約を結び、其の首府に大使館又は公使館を置き、其の他、特に重要な都會に領事館を置く。現今我が國と條約を結べるもの二十餘國あり。

兵備

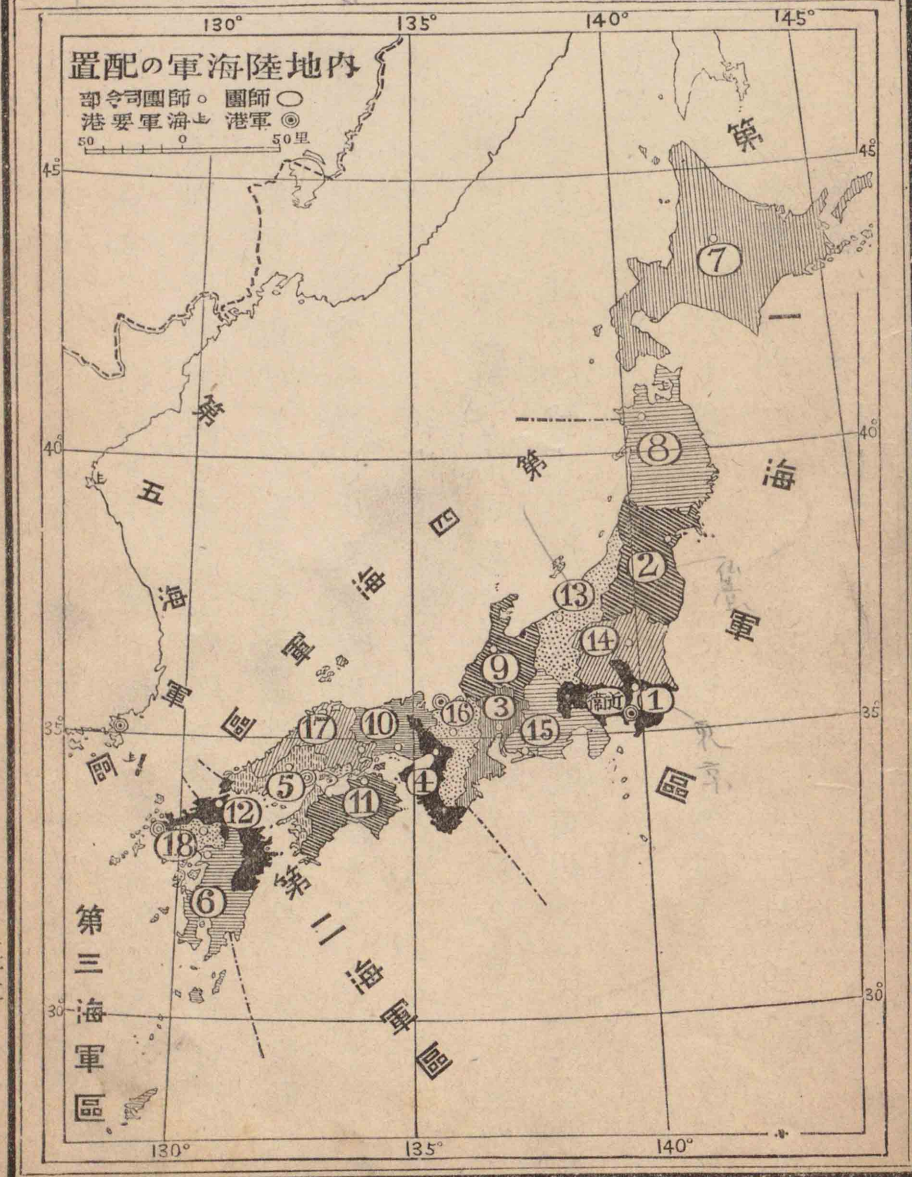
兵備は國家を守護し、國威を發揚するに缺くべからざるものなれば、各國何れも兵力の充實と軍器の改良とを圖らざるはなし。

西洋諸強國の兵備

現今陸軍常備兵の最も多きは露國にして、其の數約百四十萬あり。之に次ぐものは獨逸・佛蘭西にして、其の數六十萬を超ゆ。英吉利・奧地利・洪牙利・伊太利等亦之に次ぐ。海軍の最も

吳 佐世保 舞鶴 横須賀 旅順

1. 東京 2. 仙臺 3. 名古屋 4. 大阪 5. 廣島 6. 熊本 7. 旭川 8. 前弘 9. 金澤 10. 姫路 11. 善通寺 12. 小倉 13. 高田 14. 宇都宮 15. 曲里橋 16. 市川

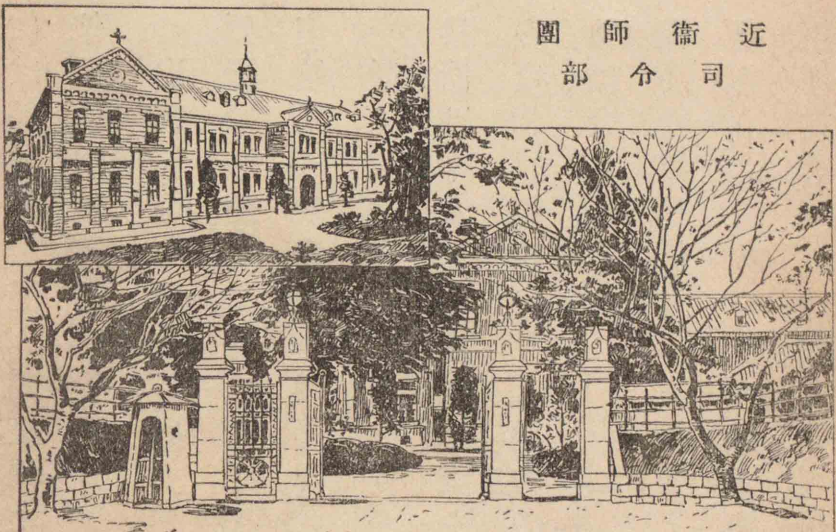


第九 政治

五十五

我が國の兵備

近衛師團司令部



優勢なるは英國にして、約百九十萬噸の艦艇を有し、獨逸、米國、佛蘭西、露西亞、伊太利の諸國順次相次ぐ。我が國民は建國以來、尙武の氣象に富めり。往昔は國民皆兵の制度なりしが、中古以來兵馬の事は専ら武門の掌る所となれり。然るに大政維新の後、詔して海内皆兵の制度に復せられ、爾來兵備は之を陸軍と海軍とに分ち、全國の

第九 政治

五十四

財政

壯丁をして兵役に服せしむることとなれり。陸軍に在りては内地を十八師管區に分ち、各師管區に師團を設く。別に近衛師團を置きて宮闕の守衛に任せしむ。又朝鮮に駐劄軍を屯せしめ、臺灣・樺太・滿洲には各守備の部隊を置き、而して要害の地には要塞又は警備隊を置く。海軍には凡そ五十萬噸の艦艇あり。全國の海岸と海面とを五海軍區に分ち、鎮守府をして之を管せしめ、各區に軍港を設け、要害の地には特に要港を置く。又關東州には別に軍港を置き、鎮守府を設く。

列強中、歳出の最も多きは露國にして、其の額約二十五億圓に達し、佛國・英國・獨逸・米國之に次ぐ。歳出は主として國防・交通・産業・教育等の費用に充てらる。歳入は歳出と相伴なふも

教育

のにして、租税及び政府の經營に係る事業の収益等を其の財源とし、尙不足を告ぐる時は國債を募集して之に充つることあり。我が國の歳入・歳出は各五億圓を超え、國債は約二十六億圓あり。

第十 教育・神社・宗教

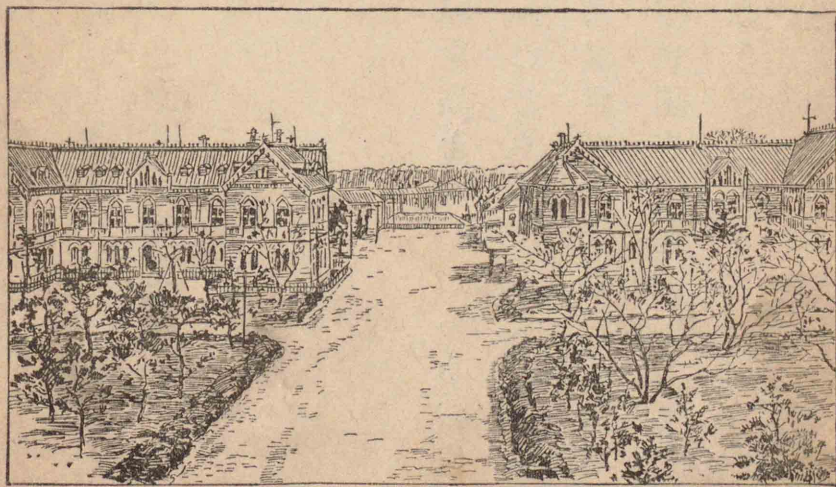
教育は國民の智徳を増進し品位を高からしむるものにして、其の興廢は國の盛衰に關すること極めて大なり。されば主要なる列國は競ひて力を之に盡さざるなし。現今教育の大いに進歩せるは獨逸・英國・佛國・米國等の諸國にして、就中獨逸の如きは大學の數二十一の多きに上る。

我が國は近來益々教育の進歩普及に力を盡し、全國到る所に

我が國の教育

小學校を設けて國民を養成せざるなく、又諸所に中學校、高等女學校を置きて高等なる普通教育を施し、各種の實業學校を設けて實業に關する普通の知識を授け、師範學校、高等師範學校を置きて教師を養成し、帝國大學及び各種の専門學校を設けて高等専門の知識技能を授くる等、教育の機關殆ど備らざるはなし。

我が國には古來皇室の御先祖



學大國帝京東

神社

宗教

を初め奉り、氏族の先祖、其の他、國家に功勞ありし人人等を神として祀り、永く其の德に報い、之を崇敬するの美風あり。神宮は天照大神を祀り奉る。神社には官幣社、國幣社、府縣社、郷社、村社、無格社ありて、其の數十萬に餘れり。世界に行はるる宗教は種種あれども、其の主なるものは佛敎、基督教、マホメト敎等にして、何れも亞細亞に起れり。佛敎は二千四百餘年前、印度に起りし宗教にして、我が國を初め、清國、印度支那等の諸地方に行はれ、信徒の數約四億に及ぶ。基督教は凡そ千九百年前、小亞細亞の東南なるシリヤに起りしものにして、主として歐羅巴人種の居住する諸地方に行はれ、信徒の數五億以上に及ぶ。マホメト敎は約千三百年前、亞刺比亞に起りしものにして、亞細亞の南部より亞

我が國の宗教

弗利加の北部に亙りて二億餘の信徒あり。其の他、印度地方にのみ行はるる印度教、歐米の各地に在る猶太人の信ずる猶太教等あり。
我が國には神道、佛教、基督教並び行はる。神道には神道、黑住教、修成派、大社教等の十餘派あり。佛教には天台宗、眞言宗、淨土宗、臨濟宗、曹洞宗、黃檗宗、眞宗、日蓮宗等の十餘宗ありて、寺院の數七萬餘に及ぶ。基督教亦所所に行はれて、會堂の設少からず。

第十一 産業 一

産業は富國の基なれば、各國競ひて力を之に盡し、國力の充實を圖らざるはなし。

如何ナル地ニ産業行ハレ
如何ナル地ニ産業行ハレ
如何ナル地ニ産業行ハレ
如何ナル地ニ産業行ハレ

我が國ノ産業物
我が國ノ産業物
我が國ノ産業物
我が國ノ産業物

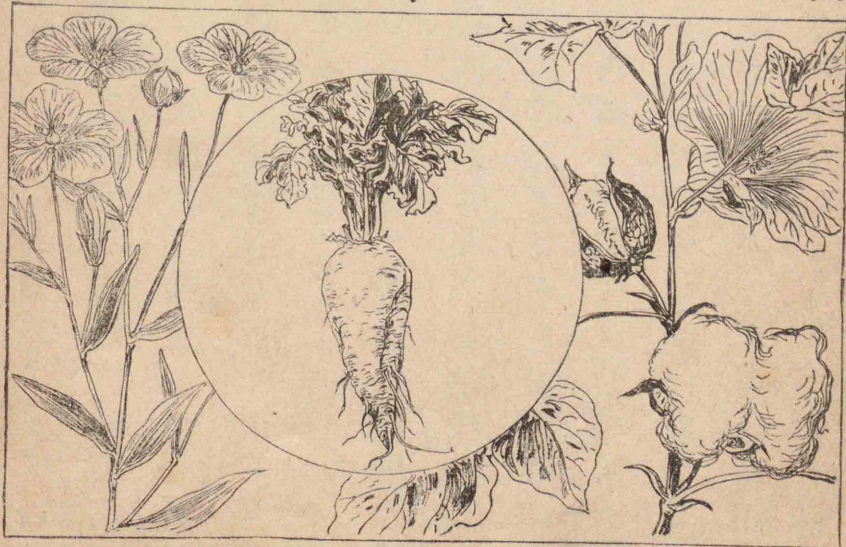
世界の農業

産業には種類多く、地勢、風土、天産物等の異同によりて、各地其の趣を異にす。肥沃なる平野に農業行はれ、沿海の地に水産業起り、有用鑛物の所在地に鑛業開け、工業上の原料又は動力等を得るに便なる地に種種の工業發達し、貨物の集散に便なる地に商業の繁盛を見るの類是なり。
農業は風土の影響を受くること頗る多きを以て、作物の種類、品質及び收穫の量は各地相同じからず。米、茶は我が國と清國との温暖なる地方及び印度等に多く産し、又米は印度支那にも多く産す。珈琲は伯刺西爾等、甘蔗は印度、キューバ、ジャバ等何れも高温なる地方に多く産し、綿は米國、印度、埃及等の中にて温度高く且乾燥せる所に多く産す。麥類は露國、米國、獨逸等、玉蜀黍は米國等、馬鈴薯は獨逸、露國等、甜菜は獨逸

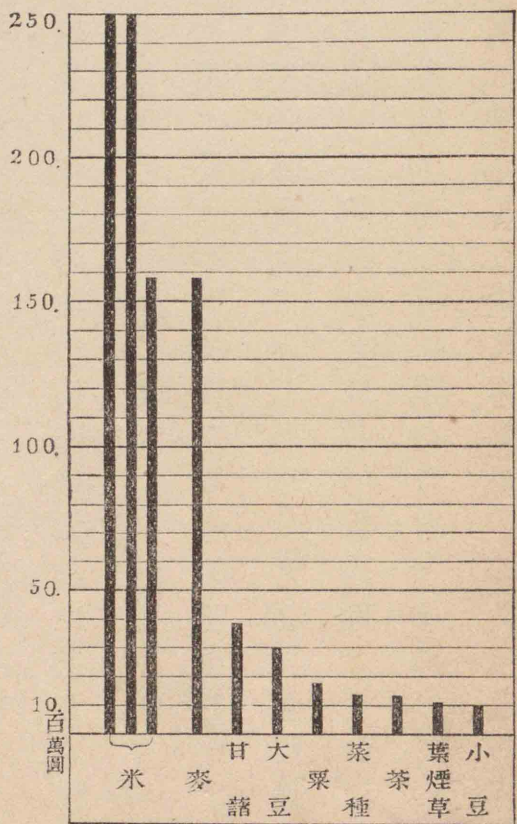
我が國の農業

壤地利洪牙利等、麻類は露國等に多く、何れも暖地より寒地に互りて産出す。

我が國は風土農業に適するを以て、古來此の業大いに開けたり。殊に近年に至り耕耘の方法益、進歩したるを以て、農産物の收穫頗る増加し、其の年産額總計十數億圓に及び。農産物の主要なるものには米・麥・甘藷・大豆・粟・菜種・茶・葉煙草・小豆等あり。就中米は



綿 甜菜 亞麻



内地重要農産物年産額

内地に在りては新潟・兵庫・福岡・愛知・千葉・山形・岡山等の諸縣に多く産し、其の

年産額五千萬石内外に及び、又朝鮮よりは凡そ七百萬石、臺灣よりは約五百萬石を産す。麥類は内地に於ては、埼玉・茨城・栃木・兵庫・愛知等の諸縣に多く産し、年産額二千萬石を超え、又朝鮮よりは約四百萬石を出す。甘藷は鹿兒島・沖縄・臺灣等、

大豆は北海道・茨城・埼玉・岩手・朝鮮等、粟は熊本・鹿兒島・岩手・神奈川・朝鮮等、菜種は北海道・福岡等、茶は静岡・三重・京都・茨城・臺灣等、葉煙草は茨城・栃木・鹿兒島・朝鮮等、小豆は北海道・熊本・茨城・新潟等の諸地方に多く産す。其の他、果實・蔬菜等の各地に産するもの亦少からず。

世界の養蠶業

養蠶業は我が國及び清國・伊太利に甚だ盛にして、亞細亞・土耳其・佛蘭西等之に次ぐ。

我が國の養蠶業

我が國に於ける繭は其の年産額三百五十萬石を超え、價額一億三千餘萬圓に達し、岐阜・愛知より長野・群馬・埼玉を経て福島・山形の諸縣に亙れる一帯の地方其の主産地たり。

世界の牧畜業

牧畜業は主として乾燥せる廣き草野に行はる。牛は印度・米國・露國等に多く、馬は露國・米國等、羊は濠洲・露國・亞爾然丁等

我が國の牧畜業

に多く飼養せらる。

我が國は廣き草野に乏しく、且氣候濕潤なるが故に牧畜に適する所少く、隨ひて牛馬等の數多からず。牛は中國地方を主産地として内地に約百四十萬頭、朝鮮に凡そ六十萬頭、臺灣に水牛等約五十萬頭あるのみ。馬は奥羽地方、九州の中部以南及び北海道の諸地方に稍多けれども、全國を通じて約百六十萬頭あるに過ぎず。

世界の林業

森林には天然林と人造林とあり。天然林の廣大なるものは熱帶多濕の地の外、露國・加奈陀・米國等の諸地方に多し。人造林は獨逸・奧地利・洪牙利等の諸地方に多く、中にも獨逸は林業の模範國として其の名著る。森林よりは木材・燃料を初め、果實・菌類等の食料品、工藝品の原料、藥品等を出すこと少か

我が國の林業

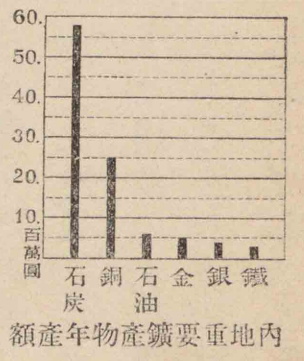
我が國には長野・岐阜・青森の諸縣、臺灣の東部、北海道・樺太、及び朝鮮の北部に大いなる森林あり、奈良・秋田等の地方に於ける森林亦名高し。木材・薪炭等の林産物は内地のみにても年價額一億數千萬圓に達す。

世界の鑛業

有用鑛物の中、金はフランス・スバール・米國・濠洲・露國等、銀は墨西哥・米國・加奈陀等、銅は米國に多く産す。鐵と石炭とは工業上甚だ重要なるものにして、米國・獨逸・英國等に多く産す。石油は米國に最も多く産し、露國・馬來・群島順次相次ぐ。

我が國の鑛業

我が國の鑛産物は内地のみにても、年産額一億圓内外に及ぶ。臺灣・朝鮮等の産額亦少からず。鑛産物の中、石炭は内地に在りては九州の北部に最も多く、北海道・福島・茨城の諸地方



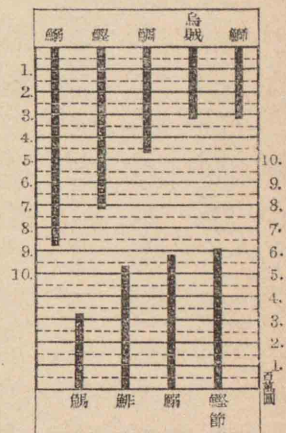
之に次ぐ。其他、我が國の經營に係る撫順炭坑より産するもの亦頗る多し。銅は秋田・愛媛・栃木の三縣に多く産し、茨城・岡山の二縣之に次ぐ。石油は新潟縣に多く産す。金は内地に在りては鹿兒島・新潟・秋田・北海道・兵庫等の諸地方に産し、又臺灣の北部及び朝鮮に多く出で、銀は秋田縣に多く産す。鐵は内地に在りては岩手縣等より出で、又近年朝鮮より産出するもの少からず。

世界の水産業

水産業は主として北半球に行はる。我が國及び英國・米國は著名なる水産業國にして、加奈陀・ニューフランド・佛蘭西・露西亞・諾威等之に次ぐ。我が國は海岸線長く、且近海に寒暖二種の海流を受くるを

我が國の水産業

漁獲物



製造物 内地重要水産物年産額

以て、從來水産物の種類と數量とに富めり、殊に近年漁業區域益、擴り、又魚介類の養殖諸所に行はるるが故に、水産業著しく進歩せり。水産物の

世界の工業

中、漁獲物には鰹、鰯、烏賊、鱈等多し。産地の主なるものは北海道、静岡、千葉、長崎、高知、三重、樺太、朝鮮等の諸地方なり。食鹽は内地の年産額約十億斤にして、價額二千萬圓を超え、主に讃岐の坂出、周防の三田尻、播磨の赤穂等、瀬戸内海の沿岸にて製せらる。又朝鮮、臺灣に於ても其の産出少からず。工業は文明の進歩と共に益、盛大に赴き、各國競ひて種種の

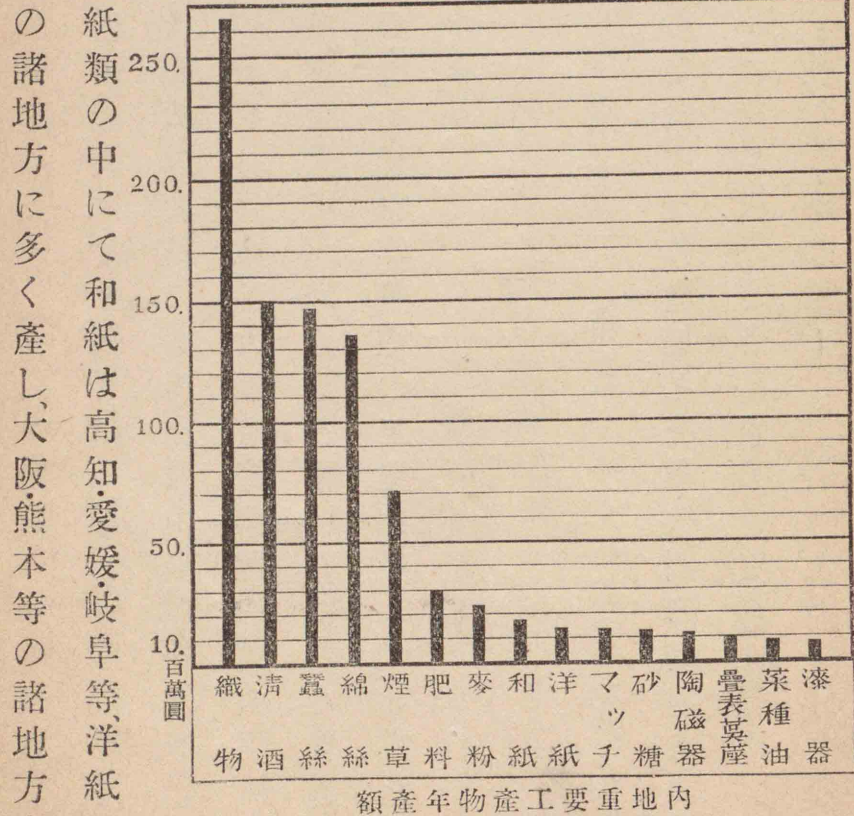
我が國の工業

工場を興すに至れり。世界に於て工業の最も隆盛なるは英國にして、米國、獨逸、白耳義、佛蘭西等之に次ぐ。瑞西は山間の小國なれども、亦工業國として名高し。各種の工産物中、蠶絲は我が國及び清國、伊太利、佛蘭西等、絹織物は我が國及び佛國、清國、英國等、綿絲、綿織物、毛絲、毛織物は英國、米國、獨逸、佛蘭西等、船舶は英國等、鐵製品及び機械類は米國、英國、獨逸、白耳義等に多く製造せらる。其の他、獨逸の麥酒、砂糖、化學工業品、佛蘭西の葡萄酒等亦名高し。我が國民は古來技藝に長じ、精巧なる工藝品を産出したること少からず。且近來英國、米國、獨逸等より輸入せる種種の機械を用ふるに至りてより、諸種の工業大いに進歩し、蠶絲、綿絲、織物、酒類、麥粉、砂糖、煙草、紙、疊表及び莫莖、陶磁器、漆器、マ、

チ・菜種油・肥料等の産額大いに増加せり。是等の中には外國に輸出せらるるもの亦少からず。

蠶絲は年産額約三百八十萬貫に及び、養蠶の盛なる諸地方に多く出で、就中長野縣の諏訪地方に最も多し。綿絲は年産額五千萬貫に餘り、大阪・兵庫・岡山・愛知・東京等の諸地方に多く産す。織物は我が國第一の工産物にして、絹織物・綿織物等あり。絹織物は多く福井・京都・群馬・石川等の諸地方、綿織物は主として愛知・大阪・和歌山等の諸地方に出づ。

酒類の中、清酒は年産額四百萬石に餘り、兵庫縣を初め、福岡・廣島・京都・愛知・新潟等の諸地方に多く産し、麥酒は東京・大阪・神奈川等の諸府縣に多く醸造せらる。麥粉は主として東京・兵庫等の諸地方に産し、砂糖は臺灣に最も多く製造せられ、



沖繩・鹿兒島・香川の諸地方順次相次ぐ。煙草は東京・大阪・鹿兒島・徳島・名古屋・熊本・京都等の諸地方に在る官設製造所にて製造せらる。

紙類の中にて和紙は高知・愛媛・岐阜等、洋紙は静岡・東京・兵庫の諸地方に多く産し、大阪・熊本等の諸地方之に次ぎ、疊表及

び莫菴は主として岡山・廣島・大分の三縣に製造せらる。陶磁器の産出は愛知縣を第一とし、岐阜・京都・佐賀等の諸地方順次相次ぎ、漆器は石川・和歌山・京都・静岡等の諸地方に多く出づ。マ、チは兵庫縣・大阪府等、菜種油は大阪府・鹿兒島縣等、肥料は東京・大阪・北海道等の諸地方に多く製造せらる。其他、造兵・造船・建築等諸種の工業に至りても亦近來長足の進歩をなせり。

第十二 産業 二

世界の商業

商業は産物の増加と交通機關の發達とに伴なひて、近時大いに隆盛に赴き、各國皆力を貿易に盡すに至れり。貿易の最も盛なるは英國にして、輸出入年額百億圓を超え、獨逸・米國・

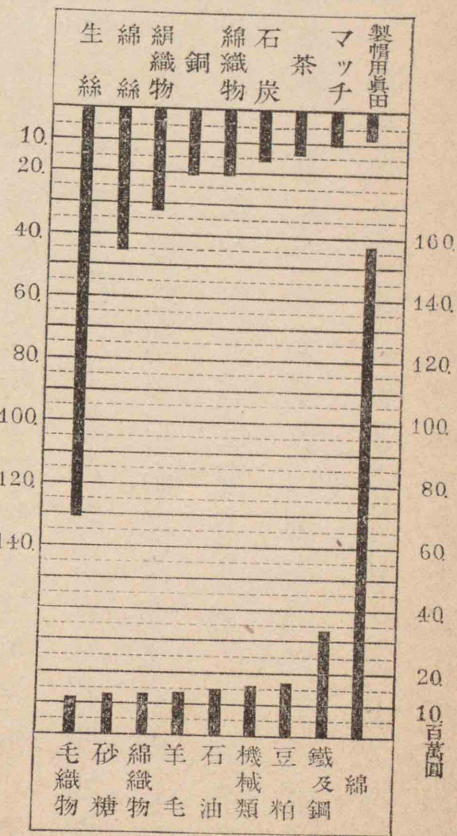
我が國の貿易

佛蘭西等順次相次ぐ。和蘭は小國なれども、三十七億圓を超え、白耳義の如きも亦二十六億圓を算す。

我が國の貿易は近來大いに隆盛に赴きたれども、輸出入年額未だ十億圓に及ばず。主として横濱・神戸の二港に行はれ、其の貿易額は實に全國總額の約八割を占む。其他、内地には大阪・門司・四日市・長崎・下關・清水・若松・三池・小樽・敦賀等あり、臺灣には淡水・基隆等あり、朝鮮には仁川・釜山等ありて、我が國の貿易港は其の數略、五十に及ぶ。又臺灣には特に支那形船の爲に開きたるもの七港あり。

輸出品中、最も主要なるものは生絲にして、年輸出額一億三千萬圓を超ゆ。綿絲・絹織物・銅・綿織物・石炭・茶・マ、チ等順次相次ぎ、其の年額何れも一千万圓以上に達す。其他、製帽用眞田・

内地重要輸出品年額



内地重要輸入品年額

水産物・木材類・砂糖・米・陶磁器等の輸出亦少からず。輸入品中最も多

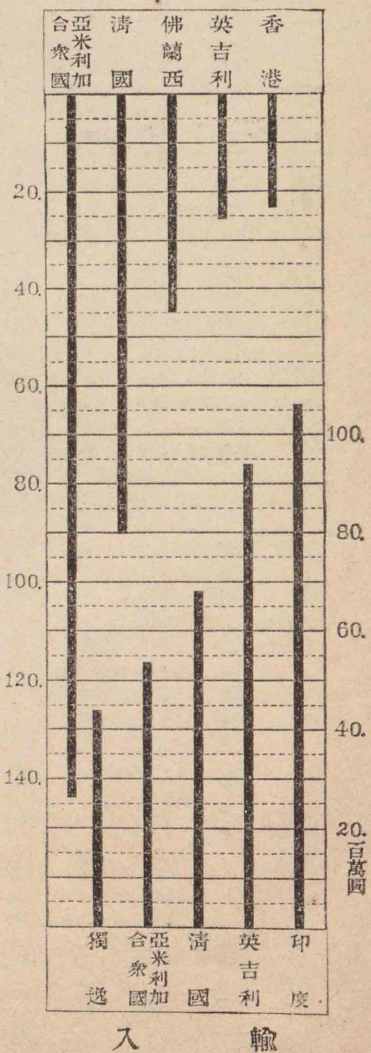
きものは綿にして、年輸入額約一億六千萬圓に及び、鐵及び銅、豆粕、機械類、石油、羊毛、綿織物、砂糖、毛織物等順次相次ぎ、何れも一千万圓を超え、大豆、米、藥品類等の輸入亦少からず。輸出品は多く、米、國、清、國、佛、國、英、國、及、び、香、港、等、に、向、ひ、輸、入、品、は、多、く、印、度、英、國、清、國、米、國、獨、逸、等、よ、り、來、る。

交通

世界の鐵道

第十三 交通

内地重要取引先



交通機關は産業の發達と共に近時大いに進歩し、陸上には汽車、電車の往來繁く、水上には汽船の航行絶ゆることなし。郵便、電信、電話等の利用も亦日に益、盛なり。世界の鐵道は總延長略、六十萬哩に及び、其の殊に發達せるは歐羅巴の西部と北米の東部とにして、是等の地に於ては



四萬七千哩なり。又密度の最も大なるは白耳義にして、一方里に一哩半餘の鐵道を有し、之に次ぐは英國にして、一方里に約一哩を有す。

線路網の如くに相交れり。列國中、線路の延長最も長きは米國の約二十四萬哩にして、之に次ぐは露國の約

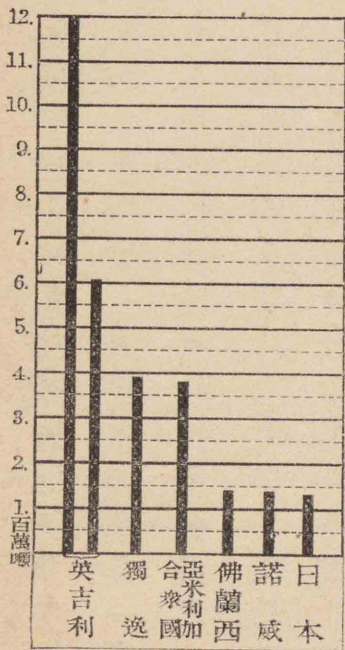
我が國の鐵道

我が國の鐵道は概ね國有にして、總延長六千餘哩に達し、其の殊に發達せるは關東・近畿及び九州北部の諸地方にして、全國の密度は七方里につき約一哩の鐵道を有する割合なり。本州の幹線は東北線・東海道線・山陽線にして、奥羽・常磐・總武・兩毛・高崎・信越・中央・北陸・關西・阪鶴等の諸線も亦主要なるものなり。九州には本島を縦貫する鹿兒島線及び之より分るる長崎線・豊州線・筑豊線等あり。四國にも亦所所に鐵道の敷設せられたるものあり。臺灣には西部の平野を縦貫する臺灣線等あり。北海道には函館より中央部に通ずる函館線及び之より分るる室蘭線・釧路線・天鹽線等あり。朝鮮には京釜線・京義線あり、相接續して半島を縦貫し、其の他、近時鐵道の敷設せらるるもの少からず。此の外、滿洲には我が國の經

世界の航海業

營に係る南滿洲鐵道あり、其の支線なる安奉線は近時京義線と接續するに至れり。

世界の汽船は其の總數二萬二千隻にして、其の噸數三千七百萬噸を超ゆ。列國中、最も多數を占むるは英國にして、殆ど全數の半を有し、獨逸・米國・佛蘭西・諾威及び我が國等順次相次ぐ。是等の汽船中には其の大いさ四萬五千噸以上のもの



列國汽船噸數の比較

あり。今や航路は世界の各港間互に相通ぜざるなく、其の中にて重要なるは紐育・フランドル・フヤ等より大西洋を横ぎりてリバブ

我が國の航海業

ール・倫敦・アンベルス・ハンブルグ等に至るもの、横濱・上海・香港・シドニー等より太平洋を横ぎりてバンクーバー・サンフランシスコ等に至るもの、及び亞細亞の諸港より印度洋を横ぎりスエズ運河を経て歐羅巴諸港に至るものなり。

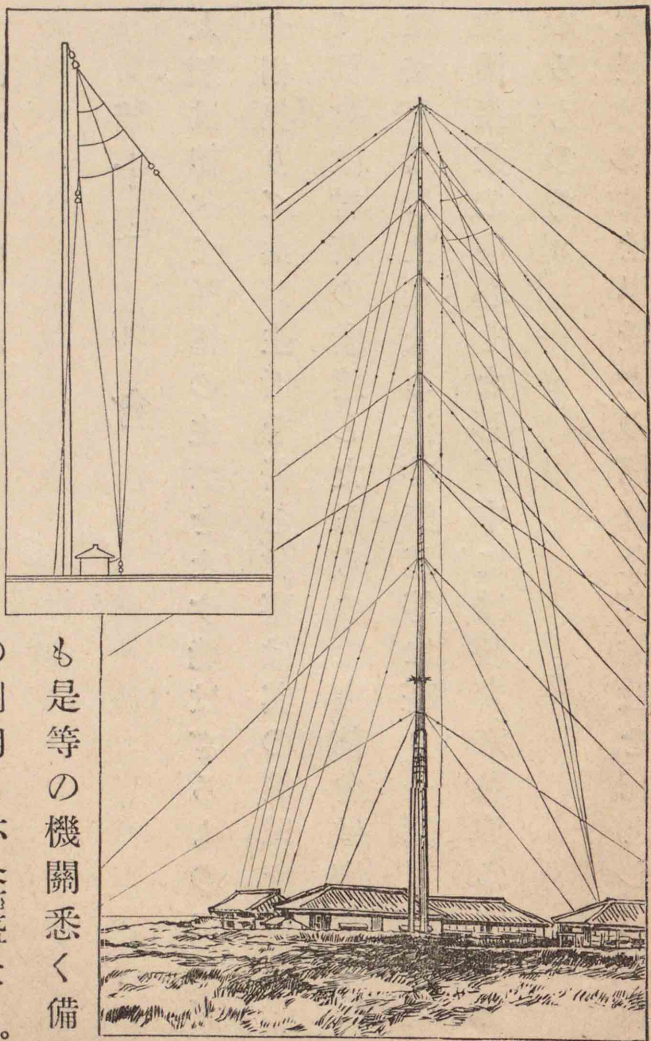
我が航路の主要なるものは、横濱・神戸及び大阪を中心として、内は國內の諸港に至り、外は浦潮斯德・天津・上海・香港・孟買等亞細亞大陸沿岸の諸港、赤道を横ぎりて濠洲のシドニー・メルボルン等、スエズ運河を経て歐羅巴のマルセイユ・倫敦・アンベルス等、太平洋を横ぎりて北米のシヤトル・タコマ・サンフランシスコ等、南米のバルパライソ等に通ず。是等の航路を通ふ汽船は、主として日本郵船・大阪商船・東洋汽船の諸會社に屬す。我が國の汽船は約一千八百隻、百三十五萬噸に

世界一週

達し、其の最も大なるは一萬三千噸を超ゆ。又帆船は約五千四百隻、凡そ四十萬噸あり。其の他、日本形船亦少からず。かくの如く世界の交通路は近時著しく發達したるを以て、今や僅に四十日を以て世界を一週するを得べし。即ち敦賀より出發し、約二日にして日本海を渡り、浦潮斯德より鐵道により、凡そ十三日にして倫敦に達し、是より海路凡そ五日を以て大西洋を渡り、陸路亦凡そ五日を以て北米を横斷し、更に太平洋を航行すること凡そ十三日にして、我が國に歸るを得るなり。

郵便・電信・電話

郵便・電信は各國の國內に行はるるのみならず、萬國聯合同盟あるを以て、内外共に其の便多し。又近時電話の使用益、盛になり、無線電信の便も亦次第に開くるに至れり。我が國に



無線電信局

も是等の機關悉く備り、其の利用も亦益盛なり。

我が國より電信線の海外に通ずるものには、東京より小笠原島・布哇等を経てサンフランシスコに至るもの、長崎より

浦潮斯德を經又は上海香港・シンガポール等を経て歐羅巴に達するもの、及びシンガポールより分れ、ジャバを経て濠洲に通ずるもの等あり。

第十四 都會

都會

人類は總べて孤獨の生活をなす能はざるものにして、必ずや相集りて共同生活を營む。村落は其の簡單なるものにして、都會は村落の發達したるものなり。都會は概ね平野の中にて交通の便利なる河畔・海邊等に在り。一國又は一地方の政治・産業の中心をなし、又中には教育・宗教等の中心をも兼ねるものあり。

世界の都會

歐羅巴には世界最大の都會たる倫敦を初とし、巴里・伯林・維

也納・彼得堡等の大都會あり。其の他の都會中、ハンブルグ・リ
バプールの如きは商業を以て著れ、マンチエスター・バーミン
ガムリヨンの如きは工業を以て著る。而して英國には人口
五萬以上のもの約九十の多きに及べり。北米の東部には、世
界第二の大都會たる紐育を初とし、シカゴ・フィラデルフ・ヤ
等盛大なるもの亦頗る多く、何れも商工業の中心を以て著る。
亞細亞にては東部より南部に亙れる一帯の地に、繁盛なる
都會少からず。就中我が東京・大阪を初め、北京・天津・漢口・上海・
廣東・カルカッタ・孟買等は其の主要なるものなり。其の他の大
洲に在りては、南米のサンチャゴ・ブエノスアイレス・モンテ
ビデオ・リオデジャネイロ等、亞弗利加のカイロ、濠洲のシドニ
ー・メルボルン等有名なり。

我が國の都邑

我が國は近年商工業の勃興に伴なひ、人口益、都會に集中するの傾あり。東京と大阪とは全國商工業の二大中心にして、殊に東京は又政治學術等の中心たり。京都・横濱・神戸・名古屋・仙臺・金澤・廣島・長崎・臺北・札幌・京城等も亦著しき都會にして、各地方に於ける商工業若しくは政治・交通・教育等の中心たらざるはなし。其の他、名勝舊蹟、或は特殊の産物等を以て著るる都邑亦少からず。我が國は人口次第に増加し、都邑の發達益、盛にして、五萬以上の人口を有する都會三十餘の多きに達せり。

高等小學地理卷二 兒童用終

大正元年九月廿五日修正印刷
 大正元年九月廿八日修正發行
 大正元年十月四日翻刻印刷
 大正元年十月十四日翻刻發行

高等小學地理卷二
 定價金 八錢

著作權所有 文部省 發行兼

翻刻發行 日本書籍株式會社
 東京市日本橋區新右衛門町十七番地

代表者 大橋新太郎

印刷者 大倉保五郎
 東京市日本橋區通一丁目十九番地

印刷所 大倉印刷所
 東京市京橋區新榮町五丁目七番地

大正元年十月八日
 文部省檢査濟

發賣所 東京市日本橋區新右衛門町十六番地
 株式會社 國定教科書共同販賣所

広島大学図書

0130449506

